

IPv4 over IPv6 対応 Wi-Fi アクセスポイント/ルーター FGN[®]1300W



v1.0.0wr版 2020年3月

安全にお使い頂くために	
1 はじめに	
1.1 製品の特長	
1.2 各部の名称と機能	
2 Web 設定について	
2.1 Web GUI へのアクセス方法	
2.1.1 GUI にアクセス出来ない場合の確認事項	
2.2 各設定ボタン動作について	
3 状態表示	
4 動作モード	
5 ネットワーク設定	
5.1 LAN 設定	
5.1.1 DHCP サーバーのクライアント表示	21
5.1.2 固定 IP アドレス付与設定	
5.2 WAN 設定	
5.2.1 IPv4 設定 WAN 接続モード DHCP クライアント	
5.2.2 IPv4 設定 WAN 接続モード PPPoE クライアント	
5.2.3 IPv4 設定 WAN 接続モード IP アドレス固定	
5.2.4 IPv6 設定 WAN 接続モード v6 コネクト	
5.2.5 IPv6 設定 WAN 接続モード 無効	
5.3 VLAN 設定	
5.3.1 VLAN IP 設定	
5.4 有線 LAN ポート設定	
5.5 IPv4 ファイアウォール設定	
5.5.1 MAC フィルタリング設定	
5.5.2 URL フィルタリング設定	
5.5.3 ルーター宛フィルタリング設定	
5.5.4 ルーター通過フィルタリング設定	
5.5.5 ポートマッピング設定	40
6	
6.1 無線 LAN(5GHz)	
6.1.1 基本設定	
6.1.2 マルチ SSID 設定	
6.1.2.1 無線 LAN 接続クライアント表示	
6.1.3 セキュリティ設定	47
6.1.3.1 暗号モード WEP	
6.1.3.2 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (事前共有:	+—)49
6.1.3.3 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (RADIUS 認	?証)50

(6.1.4	拡張設定	51
(6.1.5	アクセス制御設定	52
(6.1.6	スケジュール設定	53
(6.1.7	サイトサーベイ	54
6.2	2 無約	線 LAN(2.4GHz)	55
(6.2.1	基本設定	55
(6.2.2	マルチ SSID 設定	57
	6.2.2.	.1 新線 LAN 接続クライアント表示	59
(6.2.3	セキュリティ設定	60
	6.2.3.	.1 暗号モード WEP	61
	6.2.3.	.2 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (事前共有キー)	62
	6.2.3.	.3 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (RADIUS 認証)	63
(6.2.4	拡張設定	64
(6.2.5	アクセス制御設定	65
(6.2.6	スケジュール設定	66
(6.2.7	サイトサーベイ	67
7	システム	ム管理	68
7.1	パイ	ケット送受信量 統計	68
7.2	2 シン	ステムモニタ	69
7.3	3 時刻	刻情報設定	70
7.4	L Do	S 検知・防御設定	71
7.5	う ネ	ットワークユーティリティ	72
7.6	ふ シン	ステムログ	73
7.7	/ ファ	ァームウェアバージョンアップ	74
7.8	8 設2	定保存・読み込み・初期化	75
7.9) 그-	ーザー・パスワード設定	76
7.1	0 HT	TPS リダイレクト設定	77
7.1	1 i0S	S Captive Portal 設定	78
7.1	2 🗆 -	ーカル再起動時刻設定	79
8	再起動。	とログアウト	80
9	付録		81
9.1	設定	定例 - VLAN 設定(ネットワークを分離するケース)	81
9.2	2 設2	定例 - VLAN 設定(Trunk ポート設定を利用するケース)	83
9.3	1 工	場出荷値一覧	88
9.4	↓ 入:	力·登録制限值一覧	90
9.5	う 製品	品仕様	91
9.6	6 筐	体寸法	94
9.7	/	ラブルシューティング/Q&A 集	95

安全にお使い頂くために

ーご注意ー

- ■本機の故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外的要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失、及び誤った設定を行ったために生じた損害賠償につきまして、当社は一切その責任を負いません。
- ■通信内容の漏洩や改ざん等による精神的損害・純粋経済損失につきまして、当社は一切その責任を 負いません。
- ■本機は日本国内向け技術基準適合証明のみ取得しておりますので、海外では利用できません。

-無線LAN に関する注意事項(2.4GHz 帯使用の無線機器について)-

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ライン等で使用 されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しな い無線局)が運用されています。

- ■本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていない ことを確認して下さい。
- 万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合には、通信 環境・設置環境(混信回避のための処理、パーティションの設置等)をご確認下さい。
- ■本機を医療機器や心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している人の近くで使用しないで下さい。医療機器の誤動作の原因となります。
- ■本機を電子レンジの近くで使用しないで下さい。 電子レンジ使用時、電磁波の影響によって本機の無線通信が妨害される恐れがあります。
- ■本機の電波の種類と干渉距離については下記の通りです。



- : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示します。
- : DS-SS 方式、及び OFDM 方式を示します。
- :想定される干渉距離が 40m 以下を示します。

:全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を 回避可能なことを示します。

-無線LANに関する注意事項(5GHz帯使用の無線機器について)-

5.2/5.3GHz 帯域を屋外で使用することは、電波法によって禁止されています。

ーお取り扱い上のご注意ー

安全に正しくお使い頂き、お客様や財産への損害を防ぐために、以下のマークの記されている項目を 必ずお守り下さい。

!警告	取り扱いを誤った場合、人が死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
!注意	取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が 想定される内容を示します。
!警告	 極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器、電算機システム、医療システム等)では使用しないで下さい。 本機を医療機器や心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している人の近くで使用しないで下さい。医療機器の誤動作の原因となります。 落雷の恐れがある場合は本機の使用を直ちに中止し、接続されているケーブルを取り外して下さい。落雷により本機及び本機が接続されている機器の故障、発煙、発火の可能性があります。なお、落雷等の天災による故障の場合、保障期間内であっても有償修理となりますので、あらかじめご了承下さい。 本機から煙が出たり異臭が発生した場合等、異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。その際は電源を切り、煙が出なくなる、もしくは異臭が消えることを確認した後、当社へご連絡下さい。 濡れた手で本機及び電源アダブターの操作や接続作業を行わないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。 電源アダブターは必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対に使用しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。 電源アダブターのコードを傷つけたり、無理な力を加えたり、ものを乗せたりしないで下さい。火災、感電、政障の原因となります。 電源アダブターのブラグとコンセントの間のほこりは定期的(半年に1回程度)に取り除いて下さい。そのまま放置すると火災の原因となります。 電源アダブターのコードを傷つけたり、無理な力を加えたり、ものを乗せたりしないで下さい。火災、感電、政障の原因となります。 私間のの原因となります。 本機を分解・改造しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。 本機の近くに花瓶や植木鉢、コッブ、化粧品、薬品等の液体が入った容器、小さな金属等を置かないで下さい。これらの異物が本製品の内部に混入した場合、すぐに本製品の電源を0FFにし、販売元へご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
!注意	 本機を不安定な場所に設置したり、本機の上にものを置かないで下さい。バランスが崩れて倒れたり、落下してケガや本機の故障の原因となります。 本機は屋内用として開発されております。屋外へ設置しないで下さい。雨やほこり等により故障、破損の原因となります。 本機を調理台の近く等、油飛びや湯気のあたるような場所、及びごみやほこりの多い場所に設置しないで下さい。故障、破損の原因となります。 本機を高温多温な場所、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、熱器具や加湿器の近くで設置・保管・放置しないで下さい。火災、故障、破損の原因となります。 本機の動作中は本機内部及び外側が熱くなることがあります。本機のそばにビニール等、熱により熔けやすいものを置かないで下さい。火災、故障、破損の原因となります。 本機を他の機器の上に設置しないで下さい。変色、変形の原因となります。 本機を通度差の激しいところや、結露するような場所へ設置しないで下さい。故障の原因となります。 本機を長期間ご使用にならないときは、電源アダプターをコンセントから外し、本機に接続されている各種ケーブルを外して下さい。 本機を長期間無人で使用する際は、必ず定期的に保守/点検を行って下さい。



● 本機の上に乗らないで下さい。本機が破損し、ケガや感電の原因となります。

● 本機背面の各コネクタに異物を挿入しないで下さい。感電、火災、故障の原因となります。

-無線 LAN のセキュリティについて-

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報 のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。 その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定 を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる。

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、

・ID やパスワード

・クレジットカード番号等の個人情報

・メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

■ 不正に侵入される。

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・個人情報や機密情報を取り出す。(情報漏洩)
- ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す。(なりすまし)
- · 傍受した通信内容を書き換えて発信する。(改ざん)
- ・コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する。(破壊)

等の行為をされてしまう可能性があります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、適宜、セキュリティに関する設定を 行い、本機を使用して下さい。

ーその他 無線LAN に関する留意事項ー

- 無線LAN が使用する電波は、一般家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますが、金属は通過しません。コンクリートの壁でも内部に金属補強材が使われている場合は通過しません。
- ■ビル内等の比較的広いフロアであっても、フロア内に金属製パーティション等の遮蔽物がある場合、 通信できないことがあります。
- ■本機を使用することにより、テレビ、ラジオ、携帯電話等に雑音が入る場合、以下のように対処して下さい。
 - ・本機の設置場所を変える。
 - ・雑音が入る機器と本機の距離を離す。
 - ・雑音が入る機器と本機の電源を、それぞれ別の場所から取る。
- 通信速度は無線 LAN 規格で定められたデータ通信速度の最大値であり、実際のデータ通信速度(実 効値)ではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や通信速度は、使用環境や周辺環境により大きく変動します。

ー電波障害に関する自主規制についてー

本機はクラスA情報技術装置です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

- 商標について-

- 以下の製品名は米国 Microsoft Corporation の米国、及びその他の国における商標です。 Microsoft^(R) Windows^(R) 7 Operating System Microsoft^(R) Windows^(R) 8 Operating System Microsoft^(R) Windows^(R) 10 Operating System
- ■その他、記載の会社名、及び製品名は各社の商標または登録商標です。

ーその他ー

- ■本機の仕様や外観、内部のソフトウェア(ファームウェア)については、改良のため予告無しに変更することがあります。
- ■本書の内容については、将来予告無く変更することがあります。
- ■本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り・記載もれなどお 気付きの点がありましたらご連絡下さい。

1 はじめに

1.1 製品の特長

本機は IPv4 over IPv6 通信に対応した無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。 本機は以下のような特長があります。

- IPv4 over IPv6 対応(株式会社朝日ネットが提供する v6 コネクトに対応)
- クアッドコア CPU 1.3GHz を搭載したハイスペック仕様
- 無線 LAN アンテナ内蔵のコンパクト設計
- PoE 対応(WAN 側ポート受電対応)

1.2 各部の名称と機能

本機背面



本機底面



番号	名称	機能
1	リセットスイッチホール	本機の設定を工場出荷値に戻す場合、本機の電源が ON の状態で、細
		い棒等で本ボタンを 10 秒以上長押しして下さい。全 LED が 2~3 秒点
		灯した後に初期化が開始します。
2	L1~L4	有線 LAN ポートです。
3	W1	有線 WAN ポートです。
4	電源スイッチ	電源の ON/OFF をします。
5	DC IN	電源アダプタを接続する差込口です。
6	ケーブルクランプホール	付属の電源ケーブル用クランプを取り付ける穴です。
\bigcirc	壁掛け用ネジ穴	壁掛け用のネジ穴です。ネジはお客様準備になります。



LED	機能	状態	内容
ტ	電源	消灯	本機に電力が供給されていない
-		点灯	本機に電力が供給されている
WAN	WAN ポート	消灯	WAN ポートのリンクが確立していない
		点灯	WAN ポートのリンクが確立している
		点滅	WAN ポートで通信中
OP	AP モード	消灯	ルーターモードで動作している
		点灯	AP モードで動作している
L1~L4	LAN ポート	消灯	LAN ポートのリンクが確立していない
		点灯	LAN ポートのリンクが確立している
		点滅	LAN ポートで通信中
S1	ステータス 1	消灯	WAN ポートで IPv4 アドレスを取得していない
		点灯	WAN ポートで IPv4 アドレスを取得している
S2	ステータス 2	消灯	WAN ポートで IPv6 アドレスを取得していない
		点灯	WAN ポートで IPv6 アドレスを取得している
S3	ステータス 3	消灯	リダイレクトサーバと通信していない
		点灯	リダイレクトサーバと通信している
2.4G	無線 2.4GHz	消灯	無線 2.4GHz の機能が無効設定
		点灯	無線 2.4GHz の機能が有効設定
		点滅	無線 2.4GHz の通信が発生中
5G	無線 5GHz	消灯	無線 5GHz の機能が無効設定
		点灯	無線 5GHz の機能が有効設定
		点滅	無線 5GHz の通信が発生中

2 Web 設定について

2.1 Web GUI へのアクセス方法

- ① 本機背面の LAN ポート(L1~L4)と設定用 PC を LAN ケーブル(RJ-45)で接続して下さい。
- ② 設定用 PC の IP アドレスを下記のように自動取得にし、DHPC を取得しているか確認してください。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ	×
全般 代替の構成		
ネットワークでこの機能がサポートされている きます。サポートされていない場合は、ネット! ください。 	易合は、IP 設定を自動的に取得すること フーク管理者に適切な IP 設定を問い合れ	がで っせて
● IP アドレスを自動的に取得する(O)		
 〇次の IP アドレスを使う(S): 		
IP アドレス(0):	1	
サブネット マスク(U):	· · · · · · · · · ·	
デフォルト ゲートウェイ(D):	· · · · · ·	
● DNS サーバーのアドレスを自動的に取	得する(B)	_
──○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E)		
優先 DNS サー/(ー(P):		
代替 DNS サー/(-(A):		
□終了時に設定を検証する(L)	詳細設定(V)	
	OK +++>	セル

③ PC でブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.150.1/」を入力して下さい。

	🗖 차가	、ワークに接	続していま1 × + v
$\leftarrow \rightarrow$) V	ல்	ttp://192.168.150.1/

④ 下記のようにユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。 ユーザー名とパスワードを半角英数字で入力して[OK]ボタンをクリックして下さい。

Windows セキュリティ ×	
Microsoft Edge	
サーバー 192.168.150.1 がユーザー名とパスワードを要求しています。	
サーバーからの報告: "Server Status WebSite"。	【パスワード】 admin
警告: ユーザー名とパスワードは、セキュリティで保護されていない接続で基本 認証を使用して送信されます。	
1-ザ-名	
OK キャンセル	

⑤ 本機の設定画面(トップ画面/状態表示画面)が表示されます。

(MC)	状能表示				
195	Dista 2000				
	3776,1144	しなら情報		WANFORMAN	-20
	LATE AND			WAN S- L MARD	
	STTANIS	Libert 15 mins 1	T race	Ref E K	DMORTH / A TO REPORT ROLE TO STOL
	The A Cha Ride Number	100		Berthiter	0.000
	PARM	Di Mar 13 17 02	04 E 97 2020	#12x5770	6008
	CHERT La Dr. Martin and Th.	100104105	(and the side to shift of the Thirty of	MACHINE CO.	IN YORA MEANING
	7114-739	5.00	Alandrit z Baldrit z Br	WWW - F grass	0.00.00.00.00
	No the Bal	Total S20448 Unit	1 05400 Free 62004 (m/2 states)	19271-1-1-	21 口志久下 建新香
	NARI Sector 128	2	TTTTA	10710-04088	1000
	USCUDEU NEW		0210104	BALL PLATEN	78.000
	UniNone	011082_019		PHERICA 15 1821	
	H-MURI	randCO arthresi sion	19	Rei デフォルトゲートウェ	<i>x</i>
	サーバ県統状態	發統		MACE 19/2	68 20 8A 50 64 50
	HTTPSリダイレクト設定	用段			
	IOS Captive Portage	問知			
	リタイレクトクループ	REDIRECT2 RED REDIRECT6	IRECT3 REDIRECT4 REDIRECTS		
	シンプルリダイレクトグル	-7			
	リタイレクト部地クループ				
	リダイレクト未設定グルー	7 REDIRECTI			
	リモートアップアート	教知			
	スケジュール共転動	12			
	無線LAN設定情報			LAN設定情報	
				1 AN (-) 1// (-70)	
	SERLAN (S GHE)-6-1-55				
	SERLAN IS GREAG-1-11	10 11 (1)		Nonino de Calendaria	LANI, LANZ, LANIS LANA, WLANO, WLANO
	TREAM IS GREAM 1-1-15 TREAM IST REETS	#5) 10H2 (2+1+25)		再展インタフェース	LANT, LANZ, LANS, LANA, WLAWO, WLAW WLANS, WATS, WLAWS, WL
	SSID	10 10 Hz (a+t+at) 105_R_50		所民インタフェース	LANT, LANZ, LANZ, LANK, WLAND, WLAN WLANZ, WPN, WLANZ, WP2, WLANZ, W WLANT, WLANT, WLAN, WA'N, WLANT, WANT, WLANT, WP3
	1920 AN IS GREA-1935 1920 AN ANT Notiti SSID チャンネル福号	80 805 10Hz (2+1+20) NOS_R_50 12		新聞インタフェース MAN IU IAN R 2月11-2	LINIT LINE LINE LINE WILLING WILLING WILANG SWITH WILLING WILLING WILLING WILANT WILLING WILLING WILLING WILANT SWITH WILLING WILLING WILLING T
	1920にAN (5 GHDA—1-15 1920にAN 37 708115 SSID チャンネル都司 セキュリティ	0 905 10Hz (2+t+st) 105_R_50 12 Ext		所信イン-97エース 9LAN IU LAN P/ドレス 11.7mmトラスク	EVANT, EVANZ, EVANS, EVANS, WELVAND, WELVAND, WART, MILLAND, WART2, WELVAND, SAN VICANDS, WART1, WILLAND, WART2, WILLAND, SANT1, VICAND, EVAND, WILLAND, EVANT1, WART1, VICAND, EVANT2, WILLAND, EVANT2, WART3, 1667, 1661, 1601, 1

2.1.1 GUI にアクセス出来ない場合の確認事項

下記を確認して下さい。

- PCと本機背面のLAN ポートが、RJ-45 ケーブルで正しく接続されているか確認して下さい。
- PCと接続している LAN ポートの LED(L1~L4)が点灯していることを確認して下さい。
- PC が本機からの DHCP アドレス「192.168.150.30~192.168.150.254 の範囲(初期値)」を取得できているか確認して下さい。

2.2 各設定ボタン動作について

設定時に利用するボタンの動作について説明いたします。

LAN設定				
本機のLAN側IPアドレス、サ	ナブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。			
IPアドレス	192.168.150.1			
サブネットマスク	255.255.255.0			
DHCPサーバー設定				
DHCPサーバー	有効▼			
付与IPアドレス範囲	先頭 192.168.150.30			
	終了 192.168.150.254 クライアント表示			
	固定IPアドレス付与設定			
リース期限	360 (15-10080分)			
ホスト名				
802.1d Spanning Tree 無効 ▼				
キャンセル 保存 保存して再起動				

ボタン名称	内容
[キャンセル]	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
〔保存〕	入力・変更した値を保存します。
	実動作へ反映する為には、[保存して再起動]を行う必要があります。
〔保存して再起動〕	入力・変更した値を保存した上で、再起動を実施します。
	設定変更値は再起動完了後より、実動作へ反映します。

3 状態表示

本機の動作状態を表示します。

左のメニューリストから「状態表示」を選択します。

デibergateInc. 株式会社ファイバーゲート						
■ FGN1300W設定項目 小 ① 状態表示 小 ② 動作モード ● ○ ネットワーク設定	状態表示					耳読みり込み
 申 (□) 無線LAN設定 申 (□) システム管理 	57-1 118/1	有人植物				1380778277
	2772-091	レジト1月報			VVANag JE16 Ft	
	システム情報		_		WAN末一卜 (IPv4)	
	システム起動時間	1 hour, 16 mins, 1	7 secs		接続モード	DHCPサーバーからIPアドレス取得中
	ファームウェアバージョン	#105			IPv4アドレス	0.0.0.0
	ビルド時刻	Fri Mar 13 17:03:0	05 CST 2020		サブネットマスク	0.0.0.0
	CPUロードアベレージ	1.08 1.04 1.05	(過去 1分 5分 15分間	の負荷平均)	MACアドレス	98:2D:BA:5D:04:5D
	プロセス数	1/80	(現在のプロセス数/総	プロセス数)	WANポート (IPv6)	
	メモリ使用率	Total:508448 Used	d:85400 Free:423048 (峰	位: Kbytes)	接続モード	v6 コネクト 接続中
	NAPTセッション数	32		最大31184	アクティベーション状態	手動設定
	リダイレクトサーバ設定				IPv6アドレス - IPoE	
	UnitName	011003_010			IPv6アドレス - v6 コネクト	
	サーバURL	radios unites con	1		IPv6 デフォルトゲートウェイ	1
	サーバ接続状態	接続			MACアドレス	98:2D:BA:5D:04:5D
	HTTPSリダイレクト設定	有効				
	iOS Captive Portal設定	有効				
	リダイレクトグループ	REDIRECT2 RED REDIRECT6	IRECT3 REDIRECT4 RE	DIRECT5		
	シンプルリダイレクトグルー	ープ				
	リダイレクト無効グループ					
	リダイレクト未設定グループ	REDIRECT1				
	リモートアップデート	無効				
	スケジュール再起動	無効				
	無線LAN設定情報				LAN設定情報	
	無線LAN (5 GHz)ルートSSI	D			LANポート (グループ0)	
	無線LAN設定 ⁴	政				LAN1, LAN2, LAN3, LAN4, WLAN0, WLAN0_VAP0,
	周波数 5	GHz (a+n+ac)			所屋インタフェース	WLAN0_VAP1, WLAN0_VAP2, WLAN0_VAP3, WLAN1, WLAN1_VAP0, WLAN1_VAP1, WLAN1_VAP2, WLAN1_VAP3
	SSID #	IUS_R_5G			VLAN ID	TEATLEVALS, TEATLEVALS
	チャンネル番号 5	2			LANIPZELZ	192 168 150 1
	セキュリティ	170			サブネットマスク	255 255 255 0
	BSSID 9	8:2D:BA:5D:04:63			DHCD#+-IS-	た33.233.233.0
	接続中のクライアント数 0				DHCP9-A-	19 Million

■ システム情報

システム情報		
システム起動時間	6 mins, 42 sec	s
ファームウェアバージョン	VI II II	
ビルド時刻	Vied Del 18 14	4:55:27 CST 2019
CPUロードアベレージ	1.00 0.76 0.36	(過去 1分 5分 15分間の負荷平均)
プロセス数	1/91	(現在のプロセス数/総プロセス数)
メモリ使用率	Total:508444 U	lsed:90160 Free:418284 (単位: Kbytes)
NAPTセッション数	42	最大31184

項目	内容
システム起動時間	本機が起動してからの経過時間を表示します。
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
ビルド時刻	ファームウェアの作成時刻を表示します。
CPU ロードアベレージ	過去1分/5分/15分間の CPU 負荷と1/0 使用率の指標を表示します。
プロセス数	現在、実行されているプロセス数とプロセス総数を表示します。
メモリ使用率	総メモリ容量(Total)、使用中メモリ容量(Used)、空きメモリ容量(Free)を表示します。
NAPT セッション数	現在、使用されている NAPT セッション数(IP アドレス変換処理数)を表示します。

■ リダイレクトサーバ設定

リダイレクトサーバ設定	
UnitName	611082_019
サーバURL	rastos urtines com
サーバ接続状態	接続
HTTPSリダイレクト設定	有効
iOS Captive Portal設定	有効
リダイレクトグループ	REDIRECT2 REDIRECT3 REDIRECT4 REDIRECT5 REDIRECT6
シンプルリダイレクトグループ	
リダイレクト無効グループ	
リダイレクト未設定グループ	REDIRECT1
リモートアップデート	有効 曜日:月 時刻:03:45
スケジュール再起動	有効 曜日:月 時刻:04:00

項目	内容
UnitName	本機の UnitName を表示します。
サーバURL	接続先リダイレクトサーバの URL を表示します。
サーバ接続状態	本機とリダイレクトサーバとの接続状態を表示します。
HTTPSリダイレクト設定	HTTPS リダイレクト設定の動作(無効/有効)を表示します。
iOS Captive Portal 設定	iOS Captive Portal 設定の動作(無効/有効)を表示します。
リダイレクトグループ	リダイレクト設定が ON のグループを表示します。
シンプルリダイレクトグループ	シンプルリダイレクトが ON のグループを表示します。
リダイレクト無効グループ	リダイレクト動作が無効になっているグループを表示します。
リダイレクト未設定グループ	リダイレクト設定が OFF になっているグループを表示します。
リモートアップデート	リモートアップデート機能の動作(無効/有効・設定日時)を表示します。
スケジュール再起動	スケジュール再起動の動作(無効/有効・設定日時)を表示します。

■ 無線 LAN(5GHz)ルート SSID

無線LAN (5 GHz)ルートSSID		
無線LAN設定	有効	
周波数	5GHz (a+n+ac)	
SSID	RootSSID_5Ghz	
チャンネル番号	52	
セキュリティ	無効	
BSSID	98:2D:BA:5D:04:63	
接続中のクライアント数	0	

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
周波数	無線 LAN の周波数を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID (MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ 無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1~4

無線LAN (5 GHz)マルチSSID1	
無線LAN設定	有効
SSID	MultiSSID1_5Ghz
セキュリティ	無効
BSSID	98:2D:BA:5D:04:64
接続中のクライアント数	0

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID (MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ 無線 LAN(2.4GHz)ルート SSID

無線LAN (2.4 GHz)ルートSSID		
無線LAN設定	有効	
周波数	2.4GHz (b+g+n)	
SSID	RootSSID_2.4Ghz	
チャンネル番号	1	
セキュリティ	無効	
BSSID	98:2D:BA:5D:04:5E	
接続中のクライアント数	0	

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
周波数	無線 LAN の周波数を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID (MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ 無線 LAN(2.4GHz)マルチ SSID1~4

無線LAN (2.4 GHz)マルチSSID1		
無線LAN設定	有効	
SSID	MultiSSID1_2.4Ghz	
セキュリティ	無効	
BSSID	98:2D:BA:5D:04:5F	
接続中のクライアント数	0	

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID(MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ WAN ポート(IPv4)

DHCP クライアントモード時の表示

WANポート (IPv4)	
接続モード	DHCPクライアント
IPv4アドレス	192.168.10.36
サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

IP アドレス固定モード時の表示

WANポート (IPv4)	
接続モード	IPアドレス固定設定 接続中
IPv4アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

PPPoE クライアントモード時の表示

WANポート (IPv4)	
接続モード	PPPoE 接続中
IPv4アドレス	122.3+9.118.61
サブネットマスク	258,258,296,296
IPv4 デフォルトゲートウェイ	124.106.80.123
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

項目	内容
接続モード	WAN 側の IPv4 接続モードを表示します。
IPv4 アドレス	WAN 側の IPv4 アドレスを表示します。
サブネットマスク	WAN 側のサブネットマスクを表示します。
Pv4 デフォルトゲートウェイ	WAN 側のデフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	WAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

■ WAN ポート(IPv6) v6 コネクトモード時の表示

WANポート (IPv6)	
接続モード	v6 コネクト 接続中
アクティベーション状態	完了
IPv6アドレス - IPoE	2408 1900 a 20 2 10 2 a 20 baff:fe5d:451/64
IPv6アドレス - v6 コネクト	2400 HMIT HOLD 2400 0:9d6b:2a56:0/128
IPv6 デフォルトゲートウェイ	100 200 rm fe19:a4c6
MACアドレス	98:2D:BA:5D:04:51

項目	内容		
接続モード	WAN 側の IPv6 接続モードを表示します。		
アクティベーション状態	未完了 : v6 コネクトの設定情報の取得が完了していない状態。		
	完了 : v6 コネクトの設定情報の取得が完了している状態。		
	手動設定 : v6 コネクトの設定情報を手動設定している状態。		
	エラー : v6 コネクトの設定情報の取得に失敗している状態。		
IPv6 アドレス-IPoE	WAN 側の IPoE で接続している IPv6 アドレスを表示します。		
IPv6 アドレス-v6 コネクト	WAN 側の v6 コネクトで接続している IPv6 アドレスを表示します。		
IPv6 デフォルトゲートウェイ	WAN 側の IPv6 デフォルトゲートウェイを表示します。		
MAC アドレス	WAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。		

■ LAN ポート

LANポート (グループ0)	
所屋インタフェース	LAN1, LAN2, LAN3, LAN4, WLAN0, WLAN0_VAP0, WLAN0_VAP1, WLAN0_VAP2, WLAN0_VAP3, WLAN1, WLAN1_VAP0, WLAN1_VAP1, WLAN1_VAP2, WLAN1_VAP3
VLAN ID	
LAN IPアドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	98:2D:BA:5D:04:5C

項目	内容
所属インタフェース	各グループに所属している LAN インタフェースを表示します。
VLAN ID	VLAN ID を表示します。
LAN IP アドレス	LAN 側の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	LAN 側のサブネットマスクを表示します。
DHCP サーバー	DHCP サーバーの動作(無効/有効)を表示します。
MAC アドレス	LAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

4 動作モード

本機の動作モードの設定を行います。

左のメニューリストから「動作モード」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート	
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ネットワーク設定 ➡ 無線LAN設定 ➡ システム管理 ➡ 再起動 ➡ ログアウト 	動作モード設定 本機の動作モードを設定します。
	 ルーター 本機をルーターとして利用します。 NAPT (IPアドレス変換)機能が有効となります。 プロバイダへの接続設定は「ネットワーク設定」の「WAN設定」で行って下さい。
	● アクセスボイント 本機を無線LANアクセスポイントとして利用します。 NAPT (IPアドレス変換)機能など、ルーター機能が無効となります。 WANポート、LANポートともにHUBとして動作します。
	キャンセル 保存して再起動

項目	内容
ルーター	ルーターとして動作します。
アクセスポイント	アクセスポイントとして動作します。ルーター機能は無効となります。

機能	ルーター モード	アクセスポイント モード
状態表示機能	0	0
動作モード設定機能	0	0
ネットワーク設定		
LAN 設定機能	0	0
WAN 設定機能	0	×
VLAN 設定機能	0	0
有線 LAN ポート設定機能	0	0
IPv4 ファイアウォール設定		
MAC フィルタリング機能	0	×
URL フィルタリング機能	0	×
ルーター宛フィルタリング機能	0	0
ルーター通過フィルタリング機能	0	×
ポートマッピング機能	0	×
無線 LAN 設定		
無線LAN(5GHz)設定機能	0	○※1
無線LAN(2.4GHz)設定機能	0	○※1
システム管理		
パケット送受量 統計表示機能	0	0
システムモニタ機能	0	0
時刻情報設定機能	0	0
Dos 検知・防御設定機能	0	×
ネットワークユーティリティ機能	0	0
システムログ機能	0	0
ファームウェアバージョンアップ機能	0	0
設定保存・読み込み・初期化機能	0	0
HTTPS リダイレクト設定機能	0	×
iOS Captive Portal 設定	0	×
ローカル再起動時刻機能	×	0

※1:無線LANの送受信速度制限機能は、ルーターモード時のみ利用可能です。

5 ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を行います。

5.1 LAN 設定

本機の LAN 設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「LAN 設定」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート						
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ネットワーク設定 ➡ LAN設定 ➡ WAN設定 ➡ VLAN設定 ➡ 有線LANポート設定 ➡ IPv4ファイアウォール設定 ➡ 無線LAN設定 ➡ システム管理 ➡ 再起動 ➡ ログアウト 	LAN設定 本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。					
	IPアドレス サブネットマスク DHCPサーバー設定	192.168.150.1 255.255.255.0				
	DHCPサーバー 付与IPアドレス範囲	有効▼ 先頭 192.168.150.30 終了 192.168.150.254 固定IPアドレス付与設定				
	リース期限 ホスト名 802.1d Spanning Tree	360 (15-10080分) 無効▼				
	キャンセル保存(呆存して再起動				

項目	内容
IP アドレス	本機のLAN側のIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	本機の LAN 側のサブネットマスクを設定します。
DHCP サーバー設定	
DHCP サーバー	本機の DHCP サーバーの動作(無効/有効)を選択します。
付与IPアドレス範囲	前項において「有効」が選択された場合に、DHCP サーバーが付与する IP アドレ
	スの範囲(開始 IP アドレスと終了 IP アドレス)を設定します。
クライアント表示	DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
固定IPアドレス付与設定	DHCP サーバー 固定 IP アドレス付与設定画面を表示します。
リース期限	付与する IP アドレスのリース期限を設定します。
ホスト名	付与するホスト名を設定します。
802.1d Spanning Tree	802.1d Spanning Tree の動作(無効/有効)を選択します。

5.1.1 DHCP サーバーのクライアント表示

DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。 前項画面の「LAN 設定」内の〔クライアント表示〕ボタンをクリックします。

LAN設定	
本機のLAN側IPアドレス、	サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。
IPアドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー	有効▼
付与IPアドレス 範囲	先頭 192.168.150.30
	終了 192.168.150.254 クライアント表示
	固定IPアドレス付与設定
リース期限	360 (15-10080分)
ホスト名	
802.1d Spanning Tree	無効 ▼
キャンセル保存(保存して再起動

接続中	接続中のDHCPクライアント					
本機のDHCPt	ナーバーからIPアドレスを取得	したDHCPクライアント	の情報を表示します。			
ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	リース期限残	クライアント0\$		
PC1329N	PC1329N 54:E1:AD:05:61:3A 192.168.150.30 03h : 59m : 38s					
再読み込み 閉じる						

項目	内容
ホスト名	クライアントに設定されているホスト名を表示します。
MAC アドレス	クライアントの MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	クライアントが DHCP サーバーから取得した IP アドレスを表示します。
リース期限残	DHCP リース期限の残り時間を表示します。
クライアント OS	クライアントの OS が表示されます。 <mark>※1</mark>

※1:クライアント側の仕様によりOS が表示されない場合があります

5.1.2 固定 IP アドレス付与設定

クライアントの MAC アドレス情報によって、常に同じ IP アドレス(固定 IP アドレス)を付与するための設定を行います。

前項画面の「LAN 設定」内の〔固定 ₽ アドレス付与設定〕ボタンをクリックします。

LAN設定		DH	CPサーバ-	- 固定IPア	ドレス付与設定	2
本機のLAN側IPアドレス、	サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。	本機のロ	HCPサーバーが特定の	端末に対して、常に同じ	IPアドレスを付与するための設定	を行い
IPアドレス	192.168.150.1	a.y.				
サブネットマスク	255.255.255.0	DHC	Pサーバー 固定IPア	ドレス付与を有効にする	3	
DHCPサーバー設定		IPアドレン	x			
DHCPサーバー	有効▼	MACZE	4.7		(入力形式	
付与IPアドレス範囲	先頭 192.168.150.30				(/(/)//// /////////////////////////////	
	終了 192.168.150.254 クライアント表示					
	固定IPアドレス付与設定	キャンt	セル 保存 保存	テして再起動		
リース期限	360 (15-10080 分)					
ホスト名		DHCPサ -	-バー 固定IPアドレス作	対与リスト (20エントリョ	まで登録可能)	
802.1d Spanning Tree	無効 ▼	リスト	IPアドレス	MACアドレス	イベメロ	選択
キャンセル 保存	保存して再起動	選択した	モエントリを削除	全て削除		

項目	内容
DHCP サーバー固定 IP アドレス 付与を有効にする	固定 IP アドレス付与を有効にする場合にチェックを入れます。
IP アドレス	付与する IP アドレスを設定します。
MAC アドレス	固定 IP アドレスを付与する対象 MAC アドレスを設定します。
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)

【設定】

IP アドレス、MAC アドレス、コメント入力後、〔保存〕ボタンをクリックすると、リストへ登録されます。 設定と同時に反映する場合は、〔保存して再起動〕ボタンをクリックします。

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与設定		DHCP	サーバ-	- 固定IPア	ドレス付与設	定		
本機のDHCPサーバ ます。	一が特定の端末に対して、常に同	じIPアドレスを付与するための設	定を行い	本機のDHCPサ ます。 本ページで設定 変更内容を動作	ーバーが特定の か変更されまし に反映させるた	端末に対して、常に同じ た。 :めには、本機を再起動す	IPアドレスを付与するための記 る必要があります。	建定を行い
✓ DHCPサーバー	固定IPアドレス付与を有効にす	3			「一 肉定旧ア	ドレスは与を有効にす	z	
IPアドレス	192.168.150.31]		IPアドレス	(EAC! 7	V/II JEHMICS	~	
MACアドレス	00:00:5e:00:53:00	(入力形式 xxxxxxxxxxxxxxxxxx)		MACアドレス			(入力形式 xcxcxxxxxxxxx)	
1 <x>L</x>	example1			1 </th <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>				
キャンセル 保存 保存して再起動			キャンセル DHCPサーバー 層		[#] して再起動 1与リスト (20エントリョ	まで登録可能)		
DHCPサーバー 固定II	Pアドレス付与リスト(20エントリ	まで登録可能)		リスト II	アドレス	MACアドレス	イベメロ	選択
リスト IPア	ドレス MACアドレス	אכאב	選択	1 192	.168.150.31	00:00:5e:00:53:00	example1	
選択したエントリ	を削除 全て削除			選択したエン	トリを削除	全て削除		

本製品の WAN ポート側に接続する回線・ネットワークを設定します。 左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「WAN 設定」を選択します。

● IPv4 WAN 設定 (DHCP クライアントモード時の表示)

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート					
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ふットワーク設定 ➡ LAN設定 □ ➡ WAN設定 	IPv4 WAN設定 WAN側接続モードの設定を行います。 プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。				
	WAN接続モード DHCPクライアント▼ ホスト名				
	キャンセル 保存 保存して再起動				

● IPv6 WAN 設定 (v6 コネクトモード時の表示)

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート	
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ネットワーク設定 ➡ LAN設定 ➡ IPv4設定 ➡ IPv4設定 ➡ IPv6設定 ➡ IPv4設定 ➡ IPv4設定 ➡ ARLANポート設定 ➡ IPv4ファイアウォール設定 ➡ Sステム管理 ➡ 再起動 ➡ ログアウト 	

5.2.1 IPv4 設定 WAN 接続モード DHCP クライアント

「WAN 接続モード」で「DHCP クライアント」を選択します。

IPv4 WAN設定						
WAN側接続モードの設定を行います。	WAN側接続モードの設定を行います。					
プロバイダ、回線事業者との契約内容	などを確認の上、設定を	行って下さい。				
WAN接続モード	DHCPクライアント	•				
ホスト名						
MTU Size	1492	(1400-1500 bytes)				
ONS自動取得						
DNS固定設定						
プライマリーDNS						
セカンダリーDNS						
✓ UPnPを有効にする						
■ IGMP Proxyを有効にする						
🔲 WAN側からのPingに応答を返す						
■ WAN側から設定画面へのログオン	を許可する					
✓ L2TPパススルーを有効にする						
✓ IPSecパススルーを有効にする						
✓ PPTPパススルーを有効にする						
キャンセル 保存 保存して再起動						

項目	内容
WAN 接続モード	「DHCP クライアント」を選択します。
ホスト名	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境において、ホスト名の設
	定が必要な場合にのみ設定します。
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する
	場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設
	定して下さい。
DNS 自動取得/DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存LANの環境に合わせて設定します。
	「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリーDNS」「セカンダリー
	DNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入
	れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオ	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れ
ンを許可する	ます。※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。※2

- ※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IP アドレスのみ許可することができます。
- ※2: VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500番、PPTP パススルーTCP1723番、L2TP パススルー UDP1701番)を遮断するエントリを登録した 場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

5.2.2 IPv4 設定 WAN 接続モード PPPoE クライアント

「WAN 接続モード」で「PPPoE クライアント」を選択します。

IPv4 WAN設定		
WAN側接続モードの設定を行います。	5	
プロバイダ、回線事業者との契約内容	容などを確認の上、割	段定を行って下さい。
WAN接続モード	PPPoEクライア	シト
ユーザー名		
パスワード		
パスワード(再入力)		
MTU Size	1452	(1360-1492 bytes)
DNS自動取得		
DNS固定設定		
プライマリーDNS		
セカンダリーDNS		
✓ UPnPを有効にする		
IGMP Proxyを有効にする		
── WAN側からのPingに応答を返す		
□ WAN側から設定画面へのログオン	を許可する	
✓ L2TPパススルーを有効にする		
IPSecパススルーを有効にする		
✓ PPTPパススルーを有効にする		
キャンセル 保存 保存して	再起動	

項目	内容
WAN 接続モード	「PPPoE クライアント」を選択します。
ユーザー名	
パスワード	クロハイダとの実利員科を参照して設定します。
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する
	場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設
	定して下さい。
DNS 自動取得/DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存LANの環境に合わせて設定します。
	「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリーDNS」「セカンダリー
	DNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入
	れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオ	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れ
ンを許可する	ます。※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。※2

- ※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IP アドレスのみ許可することができます。
- ※2: VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500番、PPTP パススルーTCP1723番、L2TP パススルー UDP1701番)を遮断するエントリを登録した 場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

5.2.3 IPv4 設定 WAN 接続モード IP アドレス固定

「WAN 接続モード」で「IP アドレス固定」を選択します。

IPv4 WAN設定		
WAN側接続モードの設定を行います。		
プロバイダ、回線事業者との契約内容	などを確認の上、設定	を行って下さい。
WAN接続モード	IPアドレス固定	•
IPアドレス	172.1.1.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	172.1.1.254	
MTU Size	1500	(1400-1500 bytes)
プライマリーDNS		
セカンダリーDNS		
✓ UPnPを有効にする		
IGMP Proxyを有効にする		
🔲 WAN側からのPingに応答を返す		
□ WAN側から設定画面へのログオン	を許可する	
✓ L2TPパススルーを有効にする		
✓ IPSecパススルーを有効にする		
PPTPパススルーを有効にする		
キャンセル 保存 保存して	 長起動	

項目	内容
WAN 接続モード	「IP アドレス固定」を選択します。
IP アドレス	
サブネットマスク	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。
デフォルトゲートウェイ	
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する
	場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設定
	して下さい。
DNS 自動取得/DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。
	「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリーDNS」「セカンダリー
	DNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返	WAN(インターネット)側からのPingに応答を返す場合にチェックを入れ
す	ます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログ	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れま
オンを許可する	す。 <mark>※1</mark>
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2

- ※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定 IPアドレスのみ許可することができます。
- ※2: VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500番、PPTP パススルーTCP1723番、L2TP パススルー UDP1701番)を遮断するエントリを登録した 場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

5.2.4 IPv6 設定 WAN 接続モード v6 コネクト

「WAN 接続モード」で「v6 コネクト」を選択します。

IPv6 WAN設定
WAN側接続モードの設定を行います。
プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。
WAN接続モード v6 コネクト ▼
⑦ プロビジョニング
◎ 手動設定モード
トンネルID
センタ側のエンドポイントのIPv6アドレス
クライアント側エンドポイントのIPv6アドレス・インタフェースID
クライアント側のグローバルIPv4アドレス
アドレス変更通知に使用する通知キー
アドレス変更通知に使用する通知パスワード
キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
WAN 接続モード	「v6 コネクト」を選択します。 ※1
プロビジョニング	プロビジョニングを有効にする場合に選択します。
手動設定モード	手動設定を有効にする場合に選択します。
トンネル D	
センタ側のエンドポイントの IPv6 アドレス	
クライアント側エンドポイントの IPv6 アドレス・	v6 コネクトサービス提供プロバイダとの契約資料を参照して
インタフェース D	設定します。
クライアント側のグローバル IPv4 アドレス	
アドレス変換通知に使用する通知キー	
アドレス変換通知に使用する通知パスワード	

※1:IPv6 設定にて v6 コネクトを設定する場合、事前にIPv4 設定にてDHCPクライアント(初期値)を設定にしておく必要があります。

5.2.5 IPv6 設定 WAN 接続モード 無効

「WAN 接続モード」で「無効」を選択します。

IPv6 WAN設	定
WAN側接続モードの設定を プロバイダ、回線事業者との	行います。 の契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。
WAN接続モード	無効 ▼
キャンセル保存	呆存して再起動

項目	内容
WAN 接続モード	「無効」を選択します。 <mark>※1</mark>

※1:IPv6のWANモードを利用しない場合は、必ず「無効」を選択して下さい。

本機の VLAN 設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

GN1300W設定項目) ###表示	VI ΔΝΞ	VLAN設定										
] 動作モード コネットワーク設定												
LAN設定	V LAINUJARIE (L)	110.94.9.										
□ WAN設定	 同一のVLAN IDで設定されたLANボート間の通信を許可します。 異なるのVLAN IDで設定されたLANボート間の通信を遮断します。 											
→ VLAN設定 → 有線LANポート設定	ULANを有効	かにする										
E- Company IPv4ファイアウォール設定												
」 無称LANg定 う システム管理	VLAN ID • IP-9.	ルーノ設定		1.1 m								
 ■ システム管理 ■ 再起動 ■ ログアウト 	インタ	ヲフェース		桂別	Tag	Trunk	VLAN	ID(2~4094)	VLAN	IIPグル-	-7	
	有線LAN ポート	1		LAN			10		グル	ープロ	Ŧ	
	有線LAN ポート	-2		LAN			11		グル	ープロ	Ŧ	
	有線LAN ポート	•3		LAN			12		グル	ープロ	Ŧ	
	有線LAN ポート	-4		LAN			13		グル	ープロ	Ŧ	
	無線LAN(5GHz)	リレートSSID		LAN			2		グル	ープロ	Ŧ	
	無線LAN(5)	GHz)マルチS	SSID1	LAN			2		グル	ープロ	Ŧ	
	無線LAN(5)	GHz)マルチS	SSID2	LAN			2		グル	ープロ	Ŧ	
	無線LAN(5)	GHz)マルチS	SSID3	LAN			2		グル	ープロ	Ŧ	
	無線LAN(5)	GHz)マルチS	SSID4	LAN			2		グル	ープロ	Ŧ	
	無線LAN(2.4GH	Iz)ルートSSI	ID	LAN			2		グル	ープロ	Ŧ	
	無線LAN(2	4GHz)マルヲ	£SSID1	LAN			2		グル	ープロ	Ŧ	
	無線LAN(2	4GHz)マルヲ	FSSID2	LAN			2		グル	グループ0		
	無線LAN(2	4GHz)マルヲ	FSSID3	LAN			2		グル	ープロ	Ŧ	
	無線LAN(2	4GHz)マルヲ	FSSID4	LAN			2		グル	ープロ	Ŧ	
	有線WAN ポー	h1		WAN	1	1	1					
	VLAN IP設定											
	グループ	VLAN IP	IP7	パレス	ť	ブネット	マスク	DHCPサー	×-	詳細影	婝	
	グループ0		192.1	168.150.1		255.255.2	55.0	有効		LAN	淀	
	グループ1		192.1	168.160.1		255.255.2	55.0	無効		IP設:	定	
	グループ2		192.1	168.170.1		255.255.2	55.0	無効		IP設	定	
	グループ3		192.1	68.180.1		255.255.2	55.0	無効		IP設	定	

項日	内容
ANI た右効にする	
	VLANを有効にする場合にアエジアを入れより。 ※1
VLAN ID・IP グループ設定	
インタフェース	各物理インタフェースを表示します。
種類	各物理インタフェースの種類を表示します。
Tag	対象インタフェースの Tag を有効にする場合にチェックを入れます。
Trunk	対象インタフェースの Trunk を有効にする場合にチェックを入れます。※2
VLAN ID	対象インタフェースの VLAN ID を設定します。
VLAN IP グループ	対象インタフェースの VLAN IP グループを設定します。
VLAN IP 設定	
グループ	VLAN IP 設定対象のグループを表示します。
VLAN IP	対象グループの VLAN IP を有効にする場合にチェックを入れます。
IP アドレス	対象グループの VLAN IP の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	対象グループの VLAN IP のサブネットマスクを表示します。
DHCP サーバー	対象グループの DHCP サーバーの動作(無効/有効)を表示します。
詳細設定	対象グループの VLAN IP の設定を行う場合に、ボタンをクリックします。

※1: VLAN を有効状態から無効へ変更する場合、VLAN の設定値は初期値に戻りますので注意して下さい。

※2: Trunk を設定したインタフェースは、全ての VLAN ID との通信が許可されたインタフェースとして動作します。 Trunk を設定できるインタフェースは 1 つのみです。

5.3.1 VLAN IP 設定

各 VLAN IP グループに対する IP アドレス等の設定を行います。 VLAN IP グループは、グループ 0~3 まで設定できます。 グループ 0 の VLAN IP は常に有効で IP アドレス等 の情報は LAN 設定の値を利用します。

前項画面の「VLAN 設定」で VLAN を有効にするにチェックを入れた後、グループ1の VLAN IP にチェック を入れ [IP 設定]のボタンをクリックします。

VLANを有効	めにする											
VLAN ID・IPグ	ループ 設定											
イン	タフェース		種別	Тад	Trunk	VLAN	ID(2~4094)	VLA	N IPグル	ープ		
有線LAN ポート	^1		LAN			10		グル	/ープ0	•		
有線LAN ポート	<u>^2</u>		LAN			11		グル	/-プ0	•		
有線LAN ポート	∽ 3		LAN			12		グループ0 🔻				
有線LAN ポート	~4		LAN			13		グル	ープ0	•		
無線LAN(5GHz))レートSSID		LAN			2		グル	/ープ0	•		
無線LAN(5	GHz)マルチ	SSID1	LAN			2		グル	ノープ0	Ŧ		
無線LAN(5	GHz)マルチ	SSID2	LAN			2		グル	/ープ0	٣		
無線LAN(5	GHz)マルチ	SSID3	LAN			2		グル	ープ0	۳		
無線LAN(5	GHz)マルチ	SSID4	LAN			2		グループ0		Ŧ		
無線LAN(2.4GF	Hz)ルートSS	ID	LAN			2		グループ0		Ŧ		
無線LAN(2	.4GHz)マル	£SSID1	LAN			2		グループ0		Ŧ		
無線LAN(2	.4GHz)マル	£SSID2	LAN			2		グル	/ープ0	Ŧ		
無線LAN(2	.4GHz)マル	£SSID3	LAN			2		グル	/ープ0	Ŧ		
無線LAN(2	.4GHz)マルチ	£SSID4	LAN			2		グループ0 🔻				
有線WAN ポー	<u></u> ۲1		WAN	1	1	✓ 1			-			
VLAN IP設定												
グループ	VLAN IP	IPJ	IPアドレス		サブネットマスク		DHCPサーバー		詳細設定			
グループ0		192.	168.150.1		255.255.2	255.0	有効		LAN設定			
グループ1		192.	168.160.1		255.255.2	255.0	無効		IP設定			
グループ2		192.	168.170.1		255.255.2	255.0	無効		IP設定			
グループ3		192.	168.180.1		255.255.2	255.0	無効		IP設	定		
											_	

グループ1IPアドレス	192.168.160.1	
グループ1サブネットマス	2 55.255.255.0	
グループ1DHCPサーバー設定	Ê	
DHCPサーバー	無効 ▼	
付与IPアドレス範囲	先頭 192.168.160.30	
	終了 192.168.160.254	クライアント表示
	固定IPアドレス付与設定	
リース期限	240 (15-1	0080分)
ドメイン名		
ドメイン名		

項目	内容
グループ 1 IP アドレス	グループ1のIP アドレスを設定します。
グループ1サブネットマスク	グループ1のサブネットマスクを設定します。
グループ1DHCP サーバー設	定
DHCP サーバー	グループ1の DHCP サーバーの動作(無効/有効)を選択します。
付与IPアドレス範囲	前項において「サーバー」が選択された場合に、DHCP サーバーが付与
	する IP アドレスの範囲(開始 IP アドレスと終了 IP アドレス)を設定します。
クライアント表示	DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示し
	ます。
固定IPアドレス付与設定	DHCP サーバー 固定 IP アドレス付与設定画面を表示します。
リース期限	付与する IP アドレスのリース期限を設定します。
ドメイン名	付与するホスト名を設定します。
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	入力・変更した値を保存します。
	実動作へ反映する為には、再起動を行う必要があります。
〔閉じる〕ボタン	設定画面を閉じます。

本機の有線 LAN ポートの設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「有線 LAN ポート設定」を選択します。

 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ネットワーク設定 ➡ LAN設定 ➡ WAN設定 	有線LANポート設定 各有線ポートの動作設定、状態を表示します。 電源をOFFにすることで対象ポートを無効にすることができます。(WANはOFFにすることができません)				
	有線LANポート	通信レート	電源	リンク	速度
□ 有級LAN小一 ト設正	LAN1	Auto 🔹	ON 🔻	LinkUp	1000M
□ = IFV4ファイアウオール設定 □ = 無線LAN設定 □ = システム管理 □ = 再起動	LAN2	Auto 🔻	ON 🔻	LinkDown	-
	LAN3	Auto 🔻	ON 🔻	LinkDown	-
	LAN4	Auto 🔻	ON 🔻	LinkDown	-
	WAN	Auto 🔻	ON 🔻	LinkUp	1000M
	キャンセル保	存保存して再起動			

項目	内容	
「有線 LAN ポート	LAN1~4、WAN ポートを表示します。	
通信レート	各ポートの通信レートを選択します。	
• Auto	自動的に通信レートを識別します。	
• 10Base-Half-duplex	10Base 半二重通信(固定)	
• 10Base-Full-duplex	10Base 全二重通信(固定)	
• 100Base- Half-duplex	100Base 半二重通信(固定)	
• 100Base- Full-duplex	100Base 全二重通信(固定)	
• 1000Base- Full-duplex	1000Base 全二重通信(固定)	
リンク	各ポートのリンク状態(LinkUp/LinkDown)を表示します。	
速度	各ポートの通信レートを表示します。	

※1:「OFF」設定のポートは通信を行うことができません。LAN ケーブルを接続しても該当ポートの LED は消灯になります。 WAN ポートは「OFF」設定にすることはできません。 本機のIPv4 ファイアウォール設定を行います。

5.5.1 MAC フィルタリング設定

LAN 側に接続する特定の端末について MAC アドレスをもとに WAN 側への接続を禁止する設定を行います。 左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「MAC フィルタリング設定」を選択します。

 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ふットワーク設定 ➡ LAN設定 ➡ WAN設定 ➡ WAN設定 ➡ Tev4ファイアウォール設定 ➡ MACフィルタリング設定 ➡ URLフィルタリング設定 ➡ URLフィルタリング設定 ➡ URLフィルタリング設定 ➡ URDマールター流過フィルタリング設定 	MACフィルタリング設定 登録したMACアドレスのWAN (インターネット) 倒への通信を禁止します。 MACフィルタリングを有効にする MACアドレス コメント キャンセル 保存 保存して再起動		
	No.		אַראַר
🗆 😑 無線LAN設定	1	00:00:5e:00:53:00	example1
申· (□) 無線LAN(5GHz)	2	00:00:5e:00:53:01	example2
□□·□ ==================================	3	00:00:5e:00:53:02	example3
□ 円距到 □ ログアウト	選択したエント	リを削除全て削除	

項目	内容
MAC アドレスフィルタリングを有効にする	MAC フィルタリングを有効にする場合にチェックを入れます。
MAC アドレス	通信を禁止する MAC アドレスを設定します。
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
〔保存〕ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※1
〔保存して再起動〕ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※2
MAC フィルタリング登録リスト	
〔選択したエントリを削除〕ボタン	チェックを入れたエントリを削除します。
〔全て削除〕ボタン	全てのエントリを削除します。

※1:設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。 ※2:ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

5.5.2 URL フィルタリング設定

登録した URL、またはキーワードを含む HTTP サイトへの接続を禁止する設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「URL フィルタリング設定」を選択します。

C FIDErgate Inc. 株式会社ファイバーゲート			
➡FGN1300W設定項目 →	URLフィルタリング設定		
□ =	登録したURL、またはキーワードを含むHTTPサイトへの接続を拒否します。 本フィルタリングは、HTTPサイトのみに対応しており、HTTPSサイトには対応していません。		
 □ VLAN設定 □ 有線LANポート設定 □ □ IPV4ファイアウォール設定 □ MACコッパークリング的ます 	✓ URLフィルタリングを有効にする URL・キーワード		
 ■ MAC 91 ルチリング設定 ■ URLフィルタリング設定 ■ ルーター宛フィルタリング設定 ■ ルーター通過フィルタリング設定 	キャンセル 保存 保存して再起動		
	URLフィルタリング 登録リスト (20エントリまで登録可能)		
□ 😋 無線LAN設定	No. URL・キーワード		
□□□ 無線LAN(5GHz)	2 example2.jp		
■ □ システム管理	3 example3.jp		
	窓中したテントリ友制作 今天制作		
項目	内容		
URL フィルタリングを有効にする	URL フィルタリングを有効にする場合にチェックを入れます。		
URL・キーワード	拒否するキーワードを設定します。※1		
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。		
〔保存〕ボタン	登録リストへ設定を保存します。※2		
〔保存して再起動〕ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※3		
URL フィルタリング登録リスト			
〔選択したエントリを削除〕ボタン	チェックを入れたエントリを削除します。		

※1:本フィルタリングは、HTTP サイトのみに対応しており、HTTPS サイトには対応していません。

※2:設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3:ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

5.5.3 ルーター宛フィルタリング設定

本機(ルーター)宛のパケットに対する受信パケットフィルタリングの設定を行います。





■ 対象受信インタフェース

LAN 側	WAN・インターネット側
① LAN (グループ 0~3)	2 PPPoE
	③ WAN(DHCP クライアント・IP 固定)
	④ v6 コネクト

注意事項

フィルタリングリストに登録されていないパケットは、LAN 側から本機宛への通信は許可となります。 インターネット側(WAN を含む)から本機宛への通信は全て破棄となります。
左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ルーター宛フィルタリング設定」を選択します。

 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ふットワーク設定 ➡ LAN設定 ➡ WAN設定 ➡ VLAN設定 	ルーター宛フィルタリング設定 本機(ルーター)宛のパケットに対するフィルタリング設定を行います。 ・「送信元IPアドレス」はマスク指定が可能です。(例. xxx.xxx.xxx.xxx/29) ・「送信先ポート番号」は範囲指定が可能です。 範囲指定する場合は「:」(コロン)で指定して下さい。(例. 1024:1025)					
	処理 プロトコル 受信 (入力) インタ 送信元IPアドレス 送信先ボート範囲 コメント キャンセル 係 ルーター宛フィルタワ	破痩▼ TCP+UDP▼ LAN:グルーブ0 (L (1) (1) <	<u>AN側:グルー:</u>] 」 ⁽ ⁽)	ブ0→本機) ▼		
	処理 プロトコル	受信(入力) 送信元IP インタフェース アドレス	送信先 ポート範囲	4 <ke< th=""><th>操作</th></ke<>	操作	
	破棄 TCP	LAN:グループ0 192.168.150.30/31	41873	Drop 30-31 to GUI	↑ ↓ 削除	
	許可 TCP	LAN:グループ0 192.168.150.0/27	41873	Accept 0-31 to GUI	↑ ↓ 削除	
	破棄 TCP	LAN:グループ0 192.168.150.0/24	41873	Drop all from LAN	↑ ↓ 削除	
	全て削除					

項目	内容
処理	「破棄」か「許可」を選択します。
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」「ICMP」「GRE」「ESP」「AH」から選択します。
受信(入力)インタフェース	「LAN:グループ 0~3」「PPPoE」「WAN」「v6 コネクト」から選択します。
送信元 IP アドレス	送信元 IP アドレスを設定します。 <mark>※1</mark>
送信先ポート範囲	送信先ポート番号を設定します。 ※2
コメント	登録するエントリに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
〔保存〕ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※3
〔保存して再起動〕ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。 ※4
ルーター宛フィルタリング登録リス	k
操作〔↓〕〔↑〕ボタン	矢印の方向にエントリ順序を移動します。
〔削除〕ボタン	対象エントリを削除します。
〔全て削除〕ボタン	全てのエントリを削除します。

※1:マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。(例. 192.168.150.0/24)

※2:範囲設定する場合「:」で区切ります。(例. 20:21)

※3:設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4:ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

5.5.4 ルーター通過フィルタリング設定

本機(ルーター)を通過するパケットに対するフィルタリングを行います。対象となる受信・送信インタフェースは下 記①~⑤になります。また、インタフェースに対するパケット通過の方向例を A~C で示します。



■ 対象受信・送信インタフェース

LAN 側	WAN・インターネット側
① LAN (グループ 0~3)	2 PPPoE
	③ WAN(DHCP クライアント・IP 固定)
	④ v6 コネクト
	⑤ ALL(全てのインタフェースが対象)

■ 対象パケット通信方向

パケットの方向	受信(入力)インタフェース	送信(出力)インタフェース
A方向	LAN (グループ0~3)	PPPoE・WAN・v6 コネクト・ALL
B方向	LAN (グループ0~3)	LAN (グループ0~3)
C方向	PPPoE・WAN・v6 コネクト・ALL	LAN (グループ0~3)

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ルーター通過フィルタリング設定」を 選択します。

FibergateInc. 株式会社ファイバーゲート										
	 WANLL WANLL ・「逆じ 範囲 プロ信(2) プロ信(2) ごと信仰 ジロ信(2) ごという ジロ(2) ジ	-ター・通 AN閣(LANグ)レー 個元ドアドレス 信先が、ト番号 指定する場合は ル カ) インタフェ アドレス ート範囲 アドレス ート範囲 セル (保存 通過フィルタリ)	31通フィルタ! プロイルタ! プロ (本線ルーターを進速 1 はマスク指定が可能です。 は原間指定が可能です。 「(」(コロ>)で指定して てア・UOP・ へんし (全ての・ へんし (全ての・ への)・ 「(」) (コロン)で 保存して再起動 マク型録りスト (100エント)	Jング設定 するパケット)のフィルタリ (例. xox.xox.xox/29) て下さい。(例. 1024:1025) インタフェース) 0 (LAN例:グループ0) しまで登録可能) 送気 (Mカ)	■ ¥ 低売10	洋橋市	送商先的	洋信牛		
	処理	プロトコル	インタフェース	1月1日(1日)) インタフェース	アドレス	送16元 ポート範囲	アドレス	送15元 ポート範囲	イイメロ	操作
	破棄 全て削	TCP 除	LAN:グループD	PPPoE	192.168.150.30	1024:65535	203.0.113.1	80	example1	<u>↑</u> ↓ 削除

項目	内容
処理	「破棄」か「許可」を選択します。
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」「ICMP」「GRE」「ESP」「AH」から選択します。
受信(入力)インタフェース	「ALL(全てのインタフェース)」「LAN:グループ 0~3」「PPPoE」「WAN」「v6
	コネクト」から選択します。
送信(出力)インタフェース	「ALL(全てのインタフェース)」「LAN:グループ 0~3」「PPPoE」「WAN」「v6
	コネクト」から選択します。
送信元 IP アドレス	送信元 IP アドレスを設定します。 <mark>※1</mark>
送信元ポート範囲	送信元ポート番号を設定します。 ※2
送信先 IP アドレス	送信先 IP アドレスを設定します。 <mark>※1</mark>
送信先ポート範囲	送信先ポート番号を設定します。※2
コメント	登録するエントリに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
〔保存〕ボタン	登録リストへ設定を保存します。※3
〔保存して再起動〕ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※4
ルーター通過フィルタリング登録リ	자
操作〔↓〕〔↑〕ボタン	矢印の方向にエントリ順序を移動します。
〔削除〕ボタン	対象エントリを削除します。
〔全て削除〕ボタン	全てのエントリを削除します。

※1:マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。(例. 192.168.150.0/24)

※2:範囲設定する場合「:」で区切ります。(例. 20:21)

※3:設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4:ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

5.5.5 ポートマッピング設定

「ポートマッピング設定」では、WAN(インターネット)側から本機のWAN側IPアドレス・ポート宛の接続要求を、LAN 側IPアドレス・ポートへ転送するための設定を行います。



● ヘアピンNAT

ヘアピンNATを有効にした場合、LAN側の端末は、同一ネットワーク内に存在するポートマッピング先の機器に対して、本機が取得しているWAN側のIPと設定した送信先ポート番号を指定することでアクセスすることができます。



左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4ファイアウォール設定」→「ポートマッピング設定」を選択します。

<section-header> Scheroselevelevelevelevelevelevelevelevelevele</section-header>

項目	内容
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」から選択します。
受信(入力)インタフェース	「PPPoE」「WAN」「v6 コネクト」「ALL」から選択します。
送信元 IP アドレス	WAN側からアクセスする送信元 IP アドレスを設定します。 ※1
送信先ポート番号	WAN側からアクセスする際のポート番号を設定します。 ※2
転送先IPアドレス	転送先のLAN側IPアドレスを設定します。
転送(変換)先ポート番号	転送先の接続ポート番号を設定します。
コメント	登録するエントリに関する情報を設定します。(任意)
ヘアピンNATを有効にする	ヘアピンNAT機能を有効にする場合にチェックを入れます。
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
〔保存〕ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※3
〔保存して再起動〕ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。 ※4
ポートマッピング登録リスト	
操作〔↓〕〔↑〕ボタン	矢印の方向にエントリ順序を移動します。
〔削除〕ボタン	対象エントリを削除します。
〔全て削除〕ボタン	全てのエントリを削除します。

※1:マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。(例. 192.168.150.0/24)

※2:範囲設定する場合「:」で区切ります。(例. 20:21)

※3:設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4:ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6 無線 LAN 設定

本機の無線 LAN 設定を行います。

6.1 無線 LAN(5GHz)

無線 LAN(5GHz)の設定を行います。

6.1.1 基本設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)」→「基本設定」を選択します。

!FGN1300W設定項目 ──」 状態表示 ─── 動作モード	無線LAN 5GHz 碁	基本設定		
← ネットワーク設定 ← 無線LAN設定	無線LAN 5GHzの基本設定(周波数、	無線LAN 5GHzの基本設定(周波数、SSID、チャンネル設定など)を行います。		
□ 🕤 無線LAN(5GHz)	 無線LANを無効にする 			
基本設定	周波数	5 GHz (a+n+ac) ▼		
 セキュリティ設定 加速設定 	チャンネル幅	20MHz 🔻		
 アクセス制御設定 	拡張チャンネル	自動▼		
	チャンネル選択範囲	ALL 🔻		
│ │ └── サイトサーベイ │ 由 ━ ━ 無線LAN(2.4GHz)	チャンネル番号	自動(DFS) ▼		
	ルートSSID設定			
再起動	ルートSSID	RootSSID_5Ghz		
	無線クライアント間通信遮断	й 🖉		
	ブロードキャストSSID	有効▼		
	帯域(伝送速度)	自動		
	送信速度制限(Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)		
	受信速度制限(Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)		
	接続無線クライアント	表示		
	マルチSSID設定	マルチSSID設定		

項目	内容
無線 LAN を無効にする	無線 LAN を無効にする場合にチェックを入れます。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
• 5GHz(a+n+ac)	IEEE802.11a/n/ac で通信を行います。
• 5GHz(n+ac)	IEEE802.11n 及び IEEE802.11ac で通信を行います。
• 5GHz(a+n)	IEEE802.11a 及び IEEE802.11n で通信を行います。
• 5GHz(n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
• 5GHz(a)	IEEE802.11a でのみ通信を行います。
チャンネル幅	周波数の帯域幅を選択します。
• 20MHz	20MHz の帯域幅で通信を行います。
• 40MHz	40MHz の帯域幅で通信を行います。
• 80MHz	80MHz の帯域幅で通信を行います。
拡張チャンネル	周波数 5GHz の帯域では「自動」のみの動作になります。

チャンネル選択範囲	チャンネルの選択範囲を設定します。
• ALL	全てのチャンネルが選択の対象になります。
• W52	W52(36,40,44,48)のチャンネルが選択対象になります。
	DFS 機能の動作を避ける場合は、当該チャンネル範囲を設定します。
• W56	W56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136)のチャンネルが選
	択対象になります。DFS 機能が動作した場合も、W56 のチャンネルから選
	択します。屋外で利用する場合は、当該チャンネル範囲を設定します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を選択します。
ルート SSID 設定	
ルート SSID	ルート SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェックを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。
送信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制
	限値を設定します。 <mark>※1</mark>
	送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象にな
	ります。0を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制
	限値を設定します。 <mark>※1</mark>
	受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になり
	ます。0を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	ルート SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。
マルチ SSID 設定	マルチ SSID 設定画面を表示します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線LAN インターフェース(ルート SSID)と有線LAN 間の通信、無線LAN インターフェース(ルート SSID) 間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.1.2 マルチ SSID 設定

無線 LAN 5GHz のマルチ SSID の設定を行います。 前項画面の「基本設定」→〔マルチ SSID 設定〕ボタンをクリックします。

無線LAN 5GHz 基本設定				
無線LAN 5GHzの基本設定(周波数、SSID、チャンネル設定など)を行います。				
■ 無線LANを無効にする				
周波数	5 GHz (a+n+ac) ▼			
チャンネル幅	20MHz V			
拡張チャンネル	自動 ▼			
チャンネル選択範囲	ALL 🔻			
チャンネル番号	自動(DFS) ▼			
ルートSSID設定				
ルートSSID	RootSSID_5Ghz			
無線クライアント間通信遮断				
ブロードキャストSSID	有効▼			
帯域(伝送速度)	自動 ▼			
送信速度制限(Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)			
受信速度制限(Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)			
接続無線クライアント	表示			
マルチSSID設定	マルチSSID設定			

無線LAN 5GHz マルチSSID設定								
無線LAN 5GHzのマルチSSID設定を行います。								
有効	周波数	マルチSSID	無線 クライアント間 通信遮断	ブロード キャスト \$\$ID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線 クライアント
	5 GHz (a+n+ac) ▼	MultiSSID1_5Ghz		有効 ▼	Auto 🔻	0	0	表示
	5 GHz (a+n+ac) 🔻	MultiSSID2_5Ghz		有効 ▼	Auto 🔻	0	0	表示
	5 GHz (a+n+ac) 🔻	MultiSSID3_5Ghz		有効 ▼	Auto	0	0	表示
	5 GHz (a+n+ac) ▼	MultiSSID4_5Ghz	¢.	有効 ▼	Auto •	0	0	表示
	AP	AN 5GHz マノ 3HzのマルチSSID設定を行いる 有効 周波数 ジ 5 GHz (a+n+ac) ・ 5 GHz (a+n+ac) ・ 5 GHz (a+n+ac) ・ 5 GHz (a+n+ac) ・	AN 5GHz マルチSSID設定 aHzのマルチSSID設定を行います。 有効 周波数 マルチSSID ジ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID1_5Ghz 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID2_5Ghz 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID3_5Ghz 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID4_5Ghz	AN 5GHz マルチSSID設定 3H2のマルチSSID設定を行います。 有効 周波数 マルチSSID 7 6 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID1_5Ghz 1 5 GHz (a+n+ac) ▼ 5 GHz (a+n+ac) ▼ 5 GHz (a+n+ac) ▼ 6 5 6 5 6 5 6 5 6 5 6 5 6 5 6 5 6 5 6 5 6 5 7 MultiSSID4_5Ghz	AN 5GHz マルチSSID設定 BitzOP マルチSSID設定を行います。 有効 周波数 マルチSSID 第線 クライアント間 通信遮断 プロード キャスト 3 SSID ダ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID1_5Ghz ダ 有効 ▼ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID2_5Ghz ダ 有効 ▼ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID3_5Ghz ダ 有効 ▼ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID4_5Ghz ダ 有効 ▼	AN 5GHz マルチSSID設定 BitzOD マルチSSID設定を行います。 有効 周波数 マルチSSID 第線 クライアント間 通信遮断 プロード キャスト SSID 帯域 (伝送速度) ダ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID1_5Ghz ダ 有効 ▼ Auto ▼ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID2_5Ghz ダ 有効 ▼ Auto ▼ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID3_5Ghz ダ 有効 ▼ Auto ▼ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID3_5Ghz ダ 有効 ▼ Auto ▼ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID4_5Ghz ダ 有効 ▼ Auto ▼	AN 5GHz マルチSSID設定 BH20マルチSSID設定を行います。 有効 周波数 マルチSSID 2月 7日 帯域 ケライアント開 通信運新 プロード キャスト 帯域 (伝送速度) 送信速度制限 (Mbps) 2 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID1_5Ghz 2 有効 ▼ Auto ▼ 0 3 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID2_5Ghz 2 有効 ▼ Auto ▼ 0 4 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID3_5Ghz 2 有効 ▼ Auto ▼ 0 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID4_5Ghz 2 有効 ▼ Auto ▼ 0	AN 5GHz マルチSSID設定 BitzOP マルチSSID設定を行います。 有効 周波数 マルチSSID 第線 クライアント間 通信遮断 プロード キャスト SSID 帯域 (伝送速度) 送信速度制限 (Mbps) 受信速度制限 (Mbps) ダ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID1_5Ghz ダ 有効 ▼ Auto ▼ 0 0 0 ○ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID2_5Ghz ダ 有効 ▼ Auto ▼ 0 0 0 ○ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID3_5Ghz ダ 有効 ▼ Auto ▼ 0 0 0 ○ 5 GHz (a+n+ac) ▼ MultiSSID4_5Ghz ダ 有効 ▼ Auto ▼ 0 0 0

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
有効	チェックを入れるとマルチ SSID が有効になります。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
• 5GHz(a+n+ac)	IEEE802.11a/n/ac で通信を行います。
• 5GHz(n+ac)	IEEE802.11n 及び IEEE802.11ac で通信を行います。
• 5GHz(a+n)	IEEE802.11a 及び IEEE802.11n で通信を行います。
• 5GHz(n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
• 5GHz(a)	IEEE802.11a でのみ通信を行います。
マルチ SSID	各マルチ SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	ルート SSID に接続する無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェッ
	クを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。

帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。
送信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(マルチ SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の
	制限値を設定します。 ※1
	送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象にな
	ります。0を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(マルチ SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の
	制限値を設定します。 ※1
	受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になり
	ます。0を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	ルート SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線LANインターフェース(マルチ SSID)と有線LAN 間の通信、無線LANインターフェース(マルチ SSID) 間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.1.2.1 無線 LAN 接続クライアント表示

本機の無線 LAN アクセスポイントに接続している無線 LAN クライアントの情報を表示します。 ルート SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔表示〕ボタンをクリックします。

無線LAN 5GHz 基	基本設定												
無線LAN 5GHzの基本設定(周波数、	SSID、チャンネル設定など)を行います。												
 無線LANを無効にする 													
周波数	5 GHz (a+n+ac) 🔻												
チャンネル幅	20MHz 🔻												
拡張チャンネル	自動 ▼	Γ	<u> </u>						1				
チャンネル選択範囲	ALL 🔻		無線LAN	50	GHZ ル	- NSS	SID 接彩	シフフィ	ィアン	ト表示	÷ .		
チャンネル番号	自動(DFS) ▼					-							
ルートSSID設定													
ルートSSID	RootSSID_5Ghz		無線LAN 5GHz ルー	- ÞSSI	Dに接続されて	こいる無線LAN/	フライアントを表	示します。					
無線クライアント間通信遮頼	Ði 🕑												
プロードキャストSSID	有効 ▼			周波	チャンネル	送信パケット	受信パケット	送信バイト	受信バイト	速度	RSSI		接続時間
帯域(伝送速度)	自動		MACアドレス	教	幅	数	教	20	271	(Mbps)	(dBm)	電波強度	(#0)
送信速度制限(Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)			301	1					((10-7
受信速度制限 (Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)		Deale Machurers	11ac	20M	65	100	25KB	26KB	130	-28	Excellent	00:00:11
接続無線クライアント	表示		西き ユンユ 88	1° Z									
マルチSSID設定	マルチSSID設定		138607207 [A]	0.9									

マルチ SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔マルチ SSID 設定〕→〔表示〕ボタンをクリックします

無線LAN 5G	HzØ	マルチSSID設定を行いま	EJ.						
マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線 クライアント開 通信遮断	ブロード キャスト \$ \$ID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線 クライアント
SSID1	۲	5 GHz (a+n+ac) 🔻	MultiSSID1_5Ghz		有効▼	Auto 🔹	0	0	表示
SSID2		5 GHz (a+n+ac) 🔻	MultiSSID2_5Ghz	Ø.	有効 ▼	Auto 🔻	0	0	and IK.
SSID3		5 GHz (a+n+ac) *	MultiSSID3_5Ghz	×.	有効 🔻	Auto 🔻	0	0	T.
SSID4		5 GHz (a+n+ac) 🔻	MultiSSID4_5Ghz	Ø	有効 ▼	Auto •	0	0	20

0

無線LAN 5GHz マルチSSID1接続クライアント表示

無線LAN 5GHz マルチSSID1に接続されている無線LANクライアントを表示します。

MACアドレス	周波 数	チャンネル 幅	送信パケット 数	受信パケット 数	送信バイト 数	受信バイト 数	速度 (Mbps)	RSSI (dBm)	電波強度	接続時間 (秒)
DEEP PERCITAN	11ac	20M	83	122	27KB	34KB	173	-36	Excellent	00:00:05
再読み込み 閉	じる									

項目	内容
MAC アドレス	無線 LAN クライアントの MAC アドレスを表示します。
周波数	無線 LAN クライアントの周波数を表示します。
チャンネル幅	無線 LAN クライアントのチャンネル幅を表示します。
送信パケット数	無線 LAN クライアントの送信パケット数を表示します。
受信パケット数	無線 LAN クライアントの受信パケット数を表示します。
送信バイト数	無線 LAN クライアントの送信バイト数を表示します。
受信バイト数	無線 LAN クライアントの受信バイト数を表示します。
速度(Mbps)	無線 LAN クライアントの送信速度を表示します。
RSSI(dBm)	無線 LAN クライアントの RSSI 値を表示します。
電波強度	無線 LAN クライアントの電波強度を表示します。
接続時間(秒)	無線 LAN クライアントの接続時間を表示します。

6.1.3 **セキュリティ設定**

無線 LAN 5GHz のセキュリティ設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「セキュリティ設定」を選択しま す。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート	
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 数作モード ➡ 動作モード ➡ ネットワーク設定 ➡ 編線LAN設定 ➡ 基本設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ アクセス制御設定 ➡ フクセス制御設定 ➡ サイトサーペイ ➡ 無線LAN(2.4GHz) ➡ システム管理 ➡ 再起動 ➡ ログアウト 	無線LAN 5GHz セキュリティ設定を行います。 WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。 設定を行うSSID 暗号モード ルート - RootSSID 5Ghz ・ 無効 ・ キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
設定を行うSSID	セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
暗号モード	前項で選択した SSID の暗号化モードを選択します。
・無効	暗号モードを無効にします。
• WEP	暗号モードを「WEP」に設定します。
• WPA	暗号モードを「WPA」に設定します。
• WPA2	暗号モードを「WPA2」に設定します。
• WPA-Mixed	暗号モードを「WPA」「WPA2」混在させる場合に設定します。

6.1.3.1 暗号モード WEP

暗号モード「WEP」を選択した場合の設定を行います。

無線LAN 5GHz セキュリティ設定			
WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。			
設定を行うSSID 暗号モード	レート - RootSSID 5Ghz V WEP V		
認証方式 暗号キーの長さ	 ● オープンシステム ● 共有キー ● 自動 128-bit ▼ 		
暗号キーのフォーマット	文字列 (ASCII) (半角英数字13文字) ▼		
キャンセル 保存 保存して再起動			

項目	内容
認証方式	WEP の認証方式を選択します。
・オープンシステム	オープンシステム(Open System)認証を行います。
 ・共有キー 	共有キー(Shared Key)認証を行います。
• 自動	接続相手に応じて、オープンシステム認証か共有キー認証のどちらか片
	方を行います。
暗号キーの長さ	暗号化キーの長さを選択します。
• 64bit	文字列で 5 文字(半角英数字/記号)、16 進数で 10 文字(半角 0~9、
	半角 a~f)の暗号キーを設定できます。
• 128bit	文字列で13文字(半角英数字/記号)、16進数で26文字(半角0~9、
	半角 a~f)の暗号キーを設定できます。
暗号キーのフォーマット	暗号キーの形式を選択します。
・文字列(ASCII)	暗号キーを文字列で設定します。
・16 進数(Hex)	暗号キーを 16 進数で設定します。
暗号キー	暗号キーを設定します。「暗号キーの長さ」、「暗号キーのフォーマット」に
	合わせて任意の暗号キーを設定します。

6.1.3.2 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (事前共有キー)

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」と認証方式で事前共有キーを選択した場合の設定を行い ます。

無線LAN 5GHz セキュリティ設定				
WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。				
設定を行うSSID 暗号モード	ルート - RootSSID 5Ghz ▼ WPA-Mixed ▼			
認証方式	◎ RADIUS認証 ● 事前共有キー			
WPA暗号化方式	○ TKIP ○ AES ● TKIP/AES			
事前共有キーのフォーマット	文字列 (ASCII) (半角英数字8-64文字) ▼			
事前共有キー	12345678			
キャンセル 保存 保存して再起動				

項目	内容
WPA 暗号化方式	暗号化方式を選択します。
• TKIP	ー定時間毎にキーを更新し、通信の確認・認証を行います。
	1 つの暗号キーを長時間共有する WEP よりも安全な通信を行うことが可
	能です。
• AES	TKIP よりも高度な暗号を用います。
• TKIP/AES	接続相手に応じて、TKIP・AESを用います。
事前共有キーのフォーマット	事前共有キーの形式を選択します。
・文字列(ASCII)	共有キーを文字列で設定します。
・16 進数(Hex)	共有キーを 16 進数で設定します。
事前共有キー	「事前共有キーのフォーマット」に合わせて任意の共有キーを設定します。

6.1.3.3 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (RADIUS 認証)

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」と認証方式で RADIUS 認証を選択した場合の設定を行い ます。

無線LAN 5GHz セキュリティ設定					
WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。					
設定を行うSSID	ルート - RootSSID 5Ghz V				
暗号モード	WPA-Mixed •				
認証方式	● RADIUS認証 ─ 事前共有キー				
WPA暗号化方式	○ TKIP ○ AES ● TKIP/AES				
RADIUSサーバーのIPアドレス	0				
RADIUSサーバーのポート番号	1812				
RADIUSサーバーのパスワード					
キャンセル 保存 保存して再起動					

項目	内容
RADIUS サーバーの IP アドレス	RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。
RADIUS サーバーのポート番号	RADIUS サーバーのポート番号を設定します。
RADIUS サーバーのパスワード	RADIUS サーバーのパスワードを設定します。

6.1.4 **拡張設定**

無線LAN 5GHzの拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「拡張設定」を選択します。



項目	内容
フラグメントしきい値	フラグメント(分割)するパケットサイズを設定します。設定値よりも大きなサ
	イズのパケットを送信する場合、設定値のサイズにフラグメントして送信しま
	す。
RTSしきい値	RTS(Request To Send・送信要求)信号を送信するパケットサイズを設定
	します。設定値よりも大きなサイズのパケットを送信する場合、RTS 信号を
	送信します。
ビーコン間隔	無線電波の送出間隔を設定します。ビーコン間隔を小さくすると、無線
	LAN クライアントとの接続効率は上がりますが、通信効率は下がります。
プロテクション	無線LAN クライアントとの通信にRTS/CTS フロー制御を行う場合、有効に
	設定します。
Aggregation	複数のパケット群のグループ化と、帯域増加のための送信を有効化しま
	す。
Short Gl	Short Gl(Short Guard Interval)を設定します。Short Glを使用することで
	データ通信の効率を上げることができますが、反射波の影響を受けやすく
	なり、データ通信全体のスループットに影響を与える場合があります。
送信出力	無線の送信出力を設定します。

6.1.5 **アクセス制御設定**

無線LAN 5GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「アクセス制御設定」を選択しま す。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート		
 ➡ FGN1 300W設定項目 ➡ 秋腹表示 ➡ 動作モード ➡ シットワーク設定 ➡ 編&LAN設定 ➡ 基本設定 ➡ 基本設定 ➡ 基本設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ ひとえりノティ設定 ➡ ハーロンマシュール設定 ➡ サイトサーベイ ➡ 無線LAN(2.4GHz) ➡ システム管理 	無線LAN 5GHz アクセス制御(MACアドレスによりアクセス許可・拒否) 設定を行います。 無線LAN アクセス制御モード 登録したMACアドレスアクセス許可・ MACアドレス コメント キャンセル 保存 保存して再起動 MACアドレス登録リスト (20エントリまで登録可能)	
	No. MACアドレス コメント 1 00:00:56:00:53:00 example1	
	選択したエントリを削除 全て削除	

項目	内容		
無線 LAN アクセス制御モード	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによるアクセス制御モードを選		
	択します。		
・無効	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによる制御を行いません。		
・ 登録した MAC アドレスアクセス	無線 LAN 接続を許可するクライアントの MAC アドレスを登録します。		
許可	登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を拒否します。 ※1		
・ 登録した MAC アドレスアクセス	無線 LAN 接続を拒否するクライアントの MAC アドレスを登録します。		
拒否	登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を許可します。 ※1		
MAC アドレス	無線 LAN アクセス制御を行うクライアントの MAC アドレスを設定します。		
	(入力形式はコロン:付になります。例 xx:xx:xx:xx:xx:xx)		
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)		
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。		
〔保存〕ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※2		
〔保存して再起動〕ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※3		
MAC アドレス登録リスト			
[選択したエントリを削除]ボタン	チェックボックスで選択したエントリを削除します。		
〔全て削除〕ボタン	全てのエントリを削除します。		

※1:設定動作はアクセス許可・拒否のいずれか一方の動作になります。アクセス許可と拒否を同時に設定することはできません。

※2:設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3:ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6.1.6 **スケジュール設定**

無線 LAN 5GHz のスケジュール設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「スケジュール設定」を選択します。

FibergateInc. 株式会社ファイバーゲート							
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ネットワーク設定 ➡ 無線LAN設定 ➡ 毎 無線LAN(5GHz) ➡ ■ 基本設定 	無線LAN 5GHz スケジュール設定 無線LANを有効化するスケジュール設定を行います。 本機能を有効化設定した場合、設定した曜日・時間等にのみ、無線LANを使用することができます。 本機能を利用する場合は、必ず「時刻情報設定」画面で「NTPクライアント機能を有効にする」設定 を行って下さい。						
	🔲 スケ	ジュール機能を	「有効にする				
一日 アクセス制御設定	有効	曜日	開始	時刻		終了時刻	
スケンユール設定		日曜	00 ▼ (時)	(分) ▼ 00	00 •	(時) 00 🔻 (分)	
□ 無線LAN(2.4GHz)		日曜	00 ▼ (時)	00 ▼ (分)	00 🔻	(時) 00 🔻 (分)	
●		日曜『	00 ▼ (時)	00 ▼ (分)	00 •	(時) 00 🔻 (分)	i
□ ログアウト		日曜	00 ▼ (時)	00 ▼ (分)	00 •	(時) 00 🔻 (分)	i
		日曜	00 ▼ (時)	00 ▼ (分)	00 *	(時) 00 🔻 (分)	i
		日曜 *	00 ▼ (時)	00 ▼ (分)	00 *	(時) 00 🔻 (分)	
		日曜 *	00 ▼ (時)	00 ▼ (分)	00 •	(時) 00 🔻 (分)	
		日曜	00 ▼ (時)	(分) ▼ 00	00 •	(時) 00 🔻 (分)	
		日曜 *	00 ▼ (時)	00 ▼ (分)	00 *	(時) 00 🔻 (分)	
		日曜	00 ▼ (時)	00 ▼ (分)	00 •	(時) 00 🔻 (分)	
	キャンt	セル保存	保存して再	起動			

項目	内容
スケジュール機能を有効にする	スケジュール機能を有効にする場合にチェックを入れます。※1
有効	チェックを入れると該当行のスケジュールが有効になります。
曜日	無線 LAN を有効化する曜日を選択します。
開始時刻	開始時刻(時)(分)を選択します。
終了時刻	終了時刻(時)(分)を選択します。

※1:本機能の利用する場合は、必ず「時刻情報設定」画面で、「NTP クライアント」を有効にする」の設定を行ってください。

6.1.7 **サイトサーベイ**

周辺の無線 LAN 5GHz のアクセスポイントの状況を表示します。 左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「サイトサーベイ」を選択します。

画面内の〔再読み込み〕ボタンをクリックすることで、本機付近の他の無線LAN アクセスポイントの状況が表示されます。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート							
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ネットワーク設定 ➡ 編線LAN設定 ➡ 垂線LAN(5GHz) ➡ 基本設定 ➡ 基本設定 ➡ 拡張設定 ➡ 拡張設定 	無線LAN 5GHz サイトサーベイ 他の無線LANアクセスポイントの状況を表示します。						
	SSID	BSSID	チャンネル番号 周波数	動作モード	暗号モード	RSSI (dBm)	電波強度
	(再読み込みをクリック)						
 □ サイトサーベイ □ ● □ 無線LAN(2.4GHz) □ ● □ システム管理 □ 再起動 □ ログアウト 						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

無線LAN 5GHz サイトサーベイ						
他の無線LANアクセスポイン	ントの状況を表示します。					
再読み込み						
SSID	BSSID	チャンネル番号 周波数	動作モード	暗号モード	RSSI (dBm)	電波強度
WRNK, I	08.9401158.8574	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA- PSK/WPA2- PSK	-46	Excellent
	ALL RATING MADE	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-46	Excellent
P085	ac44.25ex810	36 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA2-PSK	-47	Excellent
MANK	08/96/01/58/85/86	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-47	Excellent
CMB-TERT_NS	ADDRESS INCOME.	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-52	Good
	nb3ec#158.41.92	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-52	Good
WRNK, I	0.9631584138	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA- PSK/WPA2- PSK	-53	Good
	CONTRACTOR NO.	44 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-69	Good
WPNet_b	r8.0ec#156.8600	44 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA- PSK/WPA2- PSK	-71	Good
-9084990	08/9601158/58/02	44 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-71	Good

6.2 無線 LAN(2.4GHz)

無線 LAN(2.4GHz)の設定を行います。

6.2.1 基本設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(2.4GHz)」→「基本設定」を選択します。

 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ ① 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ① ホットワーク設定 		
□ □ □ 無線LAN設定 □ □ □ 無線LAN設定		
□ 無線LAN(2.4GHz)	周波数	2.4 GHz (b+a+n) ▼
	チャンネル幅	20MHz ▼
□ □ セキユリティ設定 □ □ 拡張設定	拡張チャンネル	上側▼
アクセス制御設定	チャンネル番号	自動 ▼
	ルートSSID設定	
◎ 「□ ジステム管理	ルートSSID	RootSSID_2.4Ghz
	無線クライアント間通信遮断	ர் 🕜
└── 🖺 ログアウト	ブロードキャストSSID	有効▼
	帯域(伝送速度)	自動 ▼
	送信速度制限(Mbps)	0Mbps (0:制限無し)
	受信速度制限(Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)
	接続無線クライアント	表示
	マルチSSID設定	マルチSSID設定
	キャンセル 保存 保存して	再起動

項目	内容
無線 LAN を無効にする	無線 LAN を無効にする場合にチェックを入れます。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
• 2.4GHz (b+g+n)	IEEE802.11b/g/n で通信を行います。
• 2.4GHz (g+n)	IEEE802.11g 及び IEEE802.11n で通信を行います。
• 2.4GHz (b+g)	IEEE802.11b 及び IEEE802.11g で通信を行います。
• 2.4GHz (n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
• 2.4GHz (g)	IEEE802.11g でのみ通信を行います。
• 2.4GHz (b)	IEEE802.11b でのみ通信を行います。
チャンネル幅	周波数の帯域幅を選択します。
• 20MHz	20MHz の帯域幅で通信を行います。
• 40MHz	40MHz の帯域幅で通信を行います。
拡張チャンネル	IEEE802.11n の拡張チャンネルを選択します。 IEEE802.11n を含む周波数で、チャンネル幅を「40MHz」を設定した場合 に選択できます。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を選択します。

ルート SSID 設定	
ルート SSID	ルート SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	ルート SSID に接続する無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェッ
	クを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。
送信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制
	限値を設定します。 <mark>※1</mark>
	送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象にな
	ります。0を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制
	限値を設定します。 <mark>※1</mark>
	受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になり
	ます。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	ルート SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。
マルチ SSID 設定	マルチ SSID 設定画面を表示します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線LAN インターフェース(ルート SSID)と有線LAN 間の通信、無線LAN インターフェース(ルート SSID) 間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.2.2 マルチ SSID 設定

無線 LAN2.4GHz のマルチ SSID の設定を行います。 前項画面の「基本設定」→〔マルチ SSID 設定〕ボタンをクリックします。

無線LAN 2.4GHz 基本設定				
無線LAN 2.4GHzの基本設定(周波数、SSID、チャンネル設定など)を行います。				
 無線LANを無効にする 				
周波数	2.4 GHz (b+g+n) *			
チャンネル幅	20MHz 🔻			
拡張チャンネル	上側▼			
チャンネル番号	自動 ▼			
ルートSSID設定				
ルートSSID	RootSSID_2.4Ghz			
無線クライアント間通信遮断	×			
ブロードキャストSSID	有効 ▼			
帯域(伝送速度)	自動 ▼			
送信速度制限(Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)			
受信速度制限(Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)			
接続無線クライアント	表示			
マルチSSID設定	マルチSSID設定			
キャンセル 保存 保存して再起動				

無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定

無線LAN 2.4GHzのマルチSSID設定を行います。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線 クライアント間 通信遮断	ブロード キャスト SSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線 クライアント
SSID1		2.4 GHz (b+g+n) V	MultiSSID1_2.4Ghz	•	有効▼	Auto 🔻	0	0	表示
SSID2		2.4 GHz (b+g+n) 🔻	MultiSSID2_2.4Ghz	4	有効▼	Auto 🔻	0	0	表示
SSID3		2.4 GHz (b+g+n) 🔻	MultiSSID3_2.4Ghz	4	有効▼	Auto 🔻	0	0	表示
SSID4		2.4 GHz (b+g+n) 🔻	MultiSSID4_2.4Ghz	I.	有効 🔻	Auto 🔻	0	0	表示

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
有効	チェックを入れるとマルチ SSID が有効になります。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
• 2.4GHz (b+g+n)	IEEE802.11b/g/n で通信を行います。
• 2.4GHz (g+n)	IEEE802.11g 及び IEEE802.11n で通信を行います。
• 2.4GHz (b+g)	IEEE802.11b 及び IEEE802.11g で通信を行います。
• 2.4GHz (n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
• 2.4GHz (g)	IEEE802.11g でのみ通信を行います。
• 2.4GHz (b)	IEEE802.11b でのみ通信を行います。
マルチ SSID	各マルチ SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェックを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。

送信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(マルチ SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の
	制限値を設定します。 <mark>※1</mark>
	送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象にな
	ります。0を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(マルチ SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の
	制限値を設定します。 <mark>※1</mark>
	受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になり
	ます。0を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	各マルチ SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線LAN インターフェース(マルチ SSID)と有線LAN 間の通信、無線LAN インターフェース(マルチ SSID) 間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.2.2.1 無線 LAN 接続クライアント表示

本機の無線 LAN アクセスポイントに接続している無線 LAN クライアントの情報を表示します。 ルート SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔表示〕ボタンをクリックします。

無線LAN 2.4GHz	z 基本設定											
無縁LAN 2.4GHzの基本設定(周波数	、SSID、チャンネル設定など)を行います。											
 無線LANを無効にする 												
周波数	2.4 GHz (b+g+n) *											
チャンネル幅	20MHz 🔻											
拡張チャンネル	上側 ▼											
チャンネル番号	自動「	毎線LAN	12	4GHz	ルート	SSID 据	続クラ	ライアン	ント表	示		
ルートSSID設定							100		1 20			
ルートSSID	RootSSID_2.4Ghz											
無線クライアント間通信道路	₩ .	無線LAN 2.4GHz /	l−ŀs	SIDに接続され	いている無線LAN	クライアントを	表示します。					
プロードキャストSSID	有効▼											
帯域(伝送速度)	自動 ▼				nr	-	۱ <u>٫ </u>	n -			<u> </u>	
送信速度制限 (Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)	MACZELZ	周波	チャンネル	送信パケット	受信パケット	送信バイト	受信バイト	速度	RSSI	西波路度	接続時間
受信速度制限 (Mbps)	0 Mbps (0:制限無し)		数	幅	数	数	数	数	(Mbps)	(dBm)	PER AL	(秒)
接続無線クライアント	表示	D8:95:76:60:12:41	11n	20M	27	43	5KB	4KB	130	-24	Excellent	00:00:05
マルチSSID設定	マルチSSID設定				•							
キャンセル 保存 保存して	再起動	再読み込み 閉	じる									

マルチ SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔マルチ SSID 設定〕→〔表示〕ボタンをクリックします

, 無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定 ^{無線LAN 2.4GHzのマルチSSID設定を行います。}									
マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線 クライアント開 通信遮断	ブロード キャスト SSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線 クライアント
SSID1		2.4 GHz (b+g+n) 🔻	MultiSSID1_2.4Ghz		有効▼	Auto 🔹	0	0	表示
SSID2		2.4 GHz (b+g+n) 🔻	MultiSSID2_2.4Ghz	Ø	有効 🔻	Auto 🔻	0	0	25
SSID3		2.4 GHz (b+g+n) 🔻	MultiSSID3_2.4Ghz	Ø	有効 🔻	Auto 🔻	0	0	2 5
SSID4		2.4 GHz (b+g+n) 🔻	MultiSSID4_2.4Ghz		有効 🔻	Auto 🔻	0	0	a k
キャンセル									

無線LAN 2.4GHz マルチSSID1接続クライアント表示

無線LAN 2.4GHz マルチSSID1に接続されている無線LANクライアントを表示します。

MACアドレス	周波 数	チャンネル 幅	送信パケット 数	受信パケット 数	送信バイト 数	受信バイト 数	速度 (Mbps)	電波強 度	RSSI (dBm)	接続時間 (秒)
0889/38/00(2:4)	11n	20M	50	110	8KB	10KB	130	-28	Excellent	00:00:07
再読み込み 閉	じる									

項目	内容
MAC アドレス	無線 LAN クライアントの MAC アドレスを表示します。
周波数	無線 LAN クライアントの周波数を表示します。
チャンネル幅	無線 LAN クライアントのチャンネル幅を表示します。
送信パケット数	無線 LAN クライアントの送信パケット数を表示します。
受信パケット数	無線 LAN クライアントの受信パケット数を表示します。
送信バイト数	無線 LAN クライアントの送信バイト数を表示します。
受信バイト数	無線 LAN クライアントの受信バイト数を表示します。
速度(Mbps)	無線 LAN クライアントの送信速度を表示します。
RSSI(dBm)	無線 LAN クライアントの RSSI 値を表示します。
電波強度	無線 LAN クライアントの電波強度を表示します。
接続時間(秒)	無線 LAN クライアントの接続時間を表示します。

6.2.3 セキュリティ設定

• WEP

• WPA • WPA2

• WPA-Mixed

無線 LAN 2.4GHz のマルチ SSID の設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「セキュリティ設定」を選択しま す。

> 暗号モードを「WEP」に設定します。 暗号モードを「WPA」に設定します。

暗号モードを「WPA2」に設定します。

暗号モードを「WPA」「WPA2」混在させる場合に設定します。

 Fibergate Inc. #FGN1300W設定項目 · 、	無線LAN 2.4GHz セキュリティ設定を行います。 WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。 設定を行うSSID 暗号モード ノレート・RootSSID 2.4Ghz ・ 暗号モード 無効 ・ キャンセル 保存
項目	内容
設定を行うSSID	セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
暗号モード	前項で選択した SSID の暗号化モードを選択します。
・無効	暗号モードを無効にします。

6.2.3.1 暗号モード WEP

暗号モード「WEP」を選択した場合の設定を行います。

無線LAN 2.4GHz セキュリティ 設定					
WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。					
設定を行うSSID	ルート - RootSSID 2.4Ghz ▼				
暗号モー <mark>ド</mark>	WEP •				
認証方式	💿 オープンシステム 🔍 共有キー 🔍 自動				
暗号キーの長さ	128-bit T				
暗号キーのフォーマット	文字列 (ASCII) (半角英数字13文字) ▼				
暗号キー					
キャンセル 保存 保存して	再起動				

	-
項目	内容
認証方式	WEP の認証方式を選択します。
・オープンシステム	オープンシステム(Open System)認証を行います。
・共有キー	共有キー(Shared Key)認証を行います。
・自動	接続相手に応じて、オープンシステム認証か共有キー認証のどちらか片
	方を行います。
暗号キーの長さ	暗号化キーの長さを選択します。
• 64bit	文字列で5文字(半角英数字/記号)、16進数で10文字(半角0~9、
	半角 a~f)の暗号キーを設定できます。
• 128bit	文字列で13文字(半角英数字/記号)、16進数で26文字(半角0~9、
	半角 a~f)の暗号キーを設定できます。
暗号キーのフォーマット	暗号キーの形式を選択します。
・文字列(ASCII)	暗号キーを文字列で設定します。
•16 進数(Hex)	暗号キーを16進数で設定します。
暗号キー	暗号キーを設定します。「暗号キーの長さ」、「暗号キーのフォーマット」に
	合わせて任意の暗号キーを設定します。

6.2.3.2 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (事前共有キー)

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」と認証方式で事前共有キーを選択した場合の設定を行います。

無線LAN 2.4GHz セキュリティ設定を行います。 WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。 設定を行うSSID ルート - RootSSID 2.4Ghz ▼ 暗号モード WPA-Mixed ▼ 認証方式 RADIUS認証 ● 事前共有キー WPA暗号化方式 TKIP ● AES ● TKIP/AES 事前共有キーのフォーマット 文字列 (ASCII) (半角英数字8-64文字) ▼ 事前共有キー 12345678

キャンセル 保存 4

保存して再起動

項目	内容
WPA 暗号化方式	暗号化方式を選択します。
• TKIP	一定時間毎にキーを更新し、通信の確認・認証を行います。
	1 つの暗号キーを長時間共有する WEP よりも安全な通信を行うことが可
	能です。
• AES	TKIP よりも高度な暗号を用います。
• TKIP/AES	接続相手に応じて、TKIP・AESを用います。
事前共有キーのフォーマット	事前共有キーの形式を選択します。
・文字列(ASCII)	共有キーを文字列で設定します。
・16 進数(Hex)	共有キーを16進数で設定します。
事前共有キー	「事前共有キーのフォーマット」に合わせて任意の共有キーを設定します。

6.2.3.3 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (RADIUS 認証)

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」と認証方式で RADIUS 認証を選択した場合の設定を行い ます。



項目	内容
RADIUS サーバーの IP アドレス	RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。
RADIUS サーバーのポート番号	RADIUS サーバーのポート番号を設定します。
RADIUS サーバーのパスワード	RADIUS サーバーのパスワードを設定します。

6.2.4 **拡張設定**

無線 LAN 2.4GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「拡張設定」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート		
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ネットワーク設定 ➡ 無線LAN設定 ➡ ➡ 無線LAN(5GHz) ➡ ➡ 無線LAN(2.4GHz) 	無線LAN 2.4GHzの拡張設式 本画面の設定は無線LANICE 設定内容によっては無線LANICE 設定して下さい。	GHZ 拡張設定 地行います。 調する知識が必要となります。 Nの接続性が低下するなどの影響が発生する場合がありますので、注意して
 □ 基本設定 □ セキュリティ設定 □ が張設定 □ アクセス制御設定 □ スケジュール設定 □ サイトサーベイ ● システム管理 □ 再起動 □ ログアウト 	フラグメントしきい値 RTSしきい値 ピーコン間隔 プリアンブルタイプ プロテクション Aggregation Short GI 送信出力 キャンセル 保存 (2346 (256-2346) 2347 (0-2347) 100 (20-1024 ms) ● ロングブリアンブル ショートプリアンブル ● 有効 無効 ● 有効 無効 ● 有効 無効 ● 有効 ● 無効 ● 100% 70% 50% 35% 15%

項目	内容
フラグメントしきい値	フラグメント(分割)するパケットサイズを設定します。設定値よりも大きなサ
	イズのパケットを送信する場合、設定値のサイズにフラグメントして送信しま
	す。
RTSしきい値	RTS(Request To Send・送信要求)信号を送信するパケットサイズを設定
	します。設定値よりも大きなサイズのパケットを送信する場合、RTS 信号を
	送信します。
ビーコン間隔	無線電波の送出間隔を設定します。ビーコン間隔を小さくすると、無線
	LAN クライアントとの接続効率は上がりますが、通信効率は下がります。
プリアンブルタイプ	「ロングプリアンブル」、「ショートプリアンブル」から選択します。
	「ショートプリアンブル」を設定した場合、無線 LAN 間の通信速度が速くなり
	ますが、ショートプリアンブルに対応していない無線クライアントの場合、接
	続できない恐れがあります。
プロテクション	無線LAN クライアントとの通信にRTS/CTS フロー制御を行う場合、有効に
	設定します。
Aggregation	複数のパケット群のグループ化と、帯域増加のための送信を有効化しま
	す。
Short Gl	Short Gl(Short Guard Interval)を設定します。Short Glを使用することで
	データ通信の効率を上げることができますが、反射波の影響を受けやすく
	なり、データ通信全体のスループットに影響を与える場合があります。
送信出力	無線の送信出力を設定します。

6.2.5 **アクセス制御設定**

無線 LAN 2.4GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「アクセス制御設定」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート				
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ふットワーク設定 ➡ 無線LAN設定 ➡ 無線LAN(5GHz) ➡ 無線LAN(2.4GHz) ➡ 基設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ 拡張設定 ➡ アクセス制御設定 ➡ スケジュール設定 ➡ サイトサーベイ 	無線LANクライズ 無線LANクライズ 「線線LAN アクセス MACアドレス コメント キャンセル 「キャンセル」	N 2.4GHz アクセス制 アントのアクセス制御 (MACアドレスによりア (新御モード 登録したMACアドレス アクセ (の) () () () () () () () () () () () () ()	り御設定 クセス許可・拒否) 設定を行	います。
	No.	MACアドレス	イイメロ	
	1 □ 選択したエント	00:00:5e:00:53:01 ・リを削除 全て削除	example2	

項目	内容		
無線 LAN アクセス制御モード	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによるアクセス制御モードを選		
	択します。		
・無効	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによる制御を行いません。		
・ 登録した MAC アドレスアクセス	無線 LAN 接続を許可するクライアントの MAC アドレスを登録します。		
許可	登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を拒否します。 ※1		
・ 登録した MAC アドレスアクセス	無線 LAn接続を拒否するクライアントの MAC アドレスを登録します。		
拒否	登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を許可します。 ※1		
MAC アドレス	無線 LAN アクセス制御を行うクライアントの MAC アドレスを設定します。		
	(入力形式はコロン:付になります。例 xx:xx:xx:xx:xx:xx)		
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)		
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。		
〔保存〕ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※2		
〔保存して再起動〕ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※3		
MAC アドレス登録リスト			
[選択したエントリを削除]ボタン	チェックボックスで選択したエントリを削除します。		
〔全て削除〕ボタン	全てのエントリを削除します。		

※1:設定動作はアクセス許可・拒否のいずれか一方の動作になります。アクセス許可と拒否を同時に設定することはできません。

※2:設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3:ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6.2.6 スケジュール設定

無線 LAN 2.4GHz のスケジュール設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「スケジュール設定」を選択しま す。

Fibergate Inc. #xtati7ァイバーグート FGN1300W設定項目 小 状態表示 小 動作モード 命 ネットワーク設定 守 無線LAN設定 申 無線LAN(5GHZ) 日 無線LAN(2.4GHZ) 日 基本設定	無線LAN 2.4GHz スケジュール設定を行います。 無線LANを有効化するスケジュール設定を行います。 本機能を有効に設定した場合、設定した曜日・時間等にのみ、無線LANを使用することができます。 本機能を利用する場合は、必ず「時刻情報設定」画面で「NTPクライアント機能を有効にする」設定を行って下さい。 スケジュール機能を有効にする			
	有効	曜日	開始時刻	終了時刻
		日曜	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
□□□ サイトサーベイ		日曜	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
		日曜	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
└── ログアウト		日曜 *	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
	-	日曜 *	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
	-	日曜 *	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
	-	日曜	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
	-	日曜	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
		日曜	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
	=	日曜 *	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
	+7	ンセル 🗗	保存して再起動	

項目	内容
スケジュール機能を有効にする	スケジュール機能を有効にする場合にチェックを入れます。※1
有効	チェックを入れると該当行のスケジュールが有効になります。
曜日	無線 LAN を有効化する曜日を選択します。
開始時刻	開始時刻(時)(分)を選択します。
終了時刻	終了時刻(時)(分)を選択します。

※1:本機能の利用する場合は、必ず「時刻情報設定」画面で、「NTP クライアント」を有効にする」の設定を行ってください。

6.2.7 **サイトサーベイ**

周辺の無線 LAN 2.4GHz のアクセスポイントの状況を表示します。 左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「サイトサーベイ」を選択します。

画面内の〔再読み込み〕ボタンをクリックすることで、本機付近の他の無線 LAN アクセスポイントの状況が表示されます。

-	FGN1300W設定項目) 状態表示) 動作エード	無	湶LAN 2.4GHz	サイトサーイ	ドイ				
	□ 5/1 C - F □ ネットワーク設定 □ 無線LAN設定 中 □ 毎線LAN(5GHz)	他の無	線LANアクセスポイントの状況	を表示します。					
	 → Mathematical State → Mathematical State<td></td><td>SSID</td><td>BSSID チャンネ 周波</td><td>ル番号 数 動作</td><td>E−ド</td><td>暗号モード</td><td>RSSI (dBm)</td><td>電波強度</td>		SSID	BSSID チャンネ 周波	ル番号 数 動作	E−ド	暗号モード	RSSI (dBm)	電波強度
	 アクセス制御設定 スケジュール設定 サイトサーベイ システム管理 再起動 ログアウト 	(再読	<u> ふみをクリック)</u>						
	無線LAN 2.4GI	Hz サイト	サーベイ						
	他の無線LANアクセスポイントの	状況を表示します。				_			
į	再読み込み								
	SSID	BSSID	チャンネル番号 周波数	動作モード	暗号モード	RSSI (dBm)	電波強度		
	-10001_Surface	00:00:41:00:00:00	9 (b/g/n)	アクセスポイント	WPA- PSK/WPA2- PSK	-26	Excellent		

無効

無効

無効

無効

WPA-PSK/WPA2-PSK

WPA-PSK/WPA2-PSK

WPA2-PSK

アクセスポイント

アクセスポイント

アクセスポイント

アクセスポイント

アクセスポイント

アクセスポイント

アクセスポイント

Excellent

Excellent

Excellent

Excellent

Excellent

Excellent

Excellent

-32

-33

-33

-33

-37

-38

-41

BC40271028430

84,45,27,52,58,52

04x027525x20

10102712184.00

citie d10(d10)

and transmission

abbed 19958.90 7 (b/g/n)

1 (b/g/n)

1 (b/g/n)

1 (b/g/n)

1 (b/g/n)

1 (b/g/n)

1 (b/g/n)

107,29,040,3

std_2p_mult_1

100,20,000,2

reden prene truchell (2.43)

4.See(2.4)

ter, 22, rest

7 システム管理

本機の各種システム管理の設定を行います。

7.1 パケット送受信量 統計

各有線ポートのパケット送受信量を表示します。

左のメニューリストから「システム管理」→「パケット送受信量 統計」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート		
➡ FGN1300W設定項目 	パケット送き	受信量 統計
□	パケットの洋受信量を表示	1,== a.
■ □ 無線LAN設定		067.
□ ← システム管理	無線LAN(5GHz)ルートSSID	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	受信パケット:	0
	受信バイト:	0
	送信パケット:	0
	送信バイト:	0
	無線LAN(2.4GHz)ルートSSI	D
	受信パケット:	0
	受信バイト:	0
	送信パケット:	0
	送信バイト:	0
HTTPSリタイレクト設定	有線LAN1	
iOS Captive Portal設定	受信パケット:	0
	受信バイト:	0
	送信パケット:	872
	送信バイト:	270486
	有線LAN2	
	受信パケット:	6329
	受信バイト:	766117
	送信パケット:	6446
	送信バイト:	4352204
	有線LAN3	
	受信パケット:	0
	受信バイト:	0
	送信パケット:	872
	送信バイト:	270486
	有線LAN4	
	受信パケット:	0
	受信バイト:	0
	送信パケット:	872
	送信バイト:	270486
	有線WAN	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	受信パケット:	5764
	受信バイト:	4105045
	送信パケット:	5303
	送信バイト:	945217
	再読み込み	

項目	内容
〔再読み込み〕ボタン	統計情報を更新します。

本機のシステム情報を監視します。

左のメニューリストから「システム管理」→「システムモニタ」を選択します。



項目	内容
システム監視を有効にする	システム監視を有効にする場合にチェックを入れます。
〔設定変更〕ボタン	システム監視を適用します。適用時の再起動は不要です。
〔再読み込み〕ボタン	監視情報を更新します。

7.3 時刻情報設定

本機の時刻情報の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「時刻情報設定」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート	
 ■ FGN1300W設定項目 ● 状態表示 ● 動作モード ● ネットワーク設定 ● 無線LAN設定 ● システム管理 ● パケット送受信量 統計 ● ジステムモニタ ● 時刻情報設定 ● DoS検知・防御設定 ● DoS検知・防御設定 ● DoS検知・防御設定 ● ジステムログ ● コーザー名・パスワード設定 ● IOS Captive Portal設定 ● 再起動 ● ログアウト 	

項目	内容	
現在の時刻	本機が保持している時刻情報を表示します。	
タイムゾーン	工場出荷値で(GMT+09:00)Japan,Korea が選択されています。	
	(通常、変更する必要はありません。)	
NTP クライアントを有効にする	NTP のクライアントを有効にする場合にチェックを入れます。	
NTP サーバー	参照するNTPサーバーを選択するか、NTPサーバーのアドレスを入力します。	

7.4 DoS 検知 · 防御設定

本機の時刻情報の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「Dos 検知・防御設定」を選択します。



項目	内容
Port Scan 検知·防御設定	Port Scanを検知・防御設定の動作(無効/有効)を選択します。
SYN Flood 検知·防御設定	SYN Flood を検知・防御設定の動作(無効/有効)を選択します。

7.5 ネットワークユーティリティ

本機からの ping や arp 等のコマンドを実行します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ネットワークユーティリティ」を選択します。

各コマンド欄に実行するコマンドを入力した後、〔実行〕ボタンをクリックします。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート		
➡ FGN1300W設定項目 → → ↓ 伏態表示 → → 動作モード	ネットワークユーティリティ実行	
● □ ネットワーク設定	各種ネットワークユーティリティコマンドを実行できます。	
 □ 無線LAN設定 □ → システム管理 	コマンドによっては結果表示までに時間がかかるものがあるのでご注意ください。	
	ping : ping -c 3 127.0.0.1	実行
	arpping : arping -c 3 127.0.0.1 -l br0	実行
	arp : arp-a	実行
	route : route	実行
····································	nslookup : Inslookup localhost	
	iperf3 client : iperf3 -c 127.0.0.1	実行
ー 一 再起動 ー ログアウト		

注意事項

arp コマンドおよび route コマンドは、コマンド内容を指定できません。

コマンドによっては応答に時間がかかる場合があります。応答があるまで他の WebGUI の操作はできません。
本機のシステムログを表示します。

左のメニューリストから「システム管理」→「システムログ」を選択します。

FibergateInc. 株式会社ファイバーゲート	
➡ FGN1300W設定項目 → 状態表示 → 動作モード	システムログ
□ □ □ ネットワーク設定 □ □ 毎線LAN設定	システムのログ情報を表示します。
□ □ システム管理	□ ログをサーバーに送信する
	送信先サーバーIPアドレス
	キャンセル 保存 保存して再起動
ジョンアップ	Jan 6 22:51:43 (none) system, info system started: BusyBox v1.12.1
 □□ 設定保存・読み込み・初期化 □□□ ユーザー名・パスワード設定 	Jan 6 22:51:43 (none) kern.notice kernel: [0.751142] (0)[1:swapper/0][Power Jan 6 22:51:43 (none) kern.notice kernel: [0.758187] (0)[1:swapper/0][Power Les 6 22:51:43 (none) kern.notice kernel: [0.758187] (0)[1:swapper/0][Power
	Jan 6 22:51:43 (none) kern.notice kernel: [0.77230] (0)[1:swapper/0][Power Jan 6 22:51:43 (none) kern.notice kernel: [0.779403] (0)[1:swapper/0][Power
	Jan 6 22:51:43 (none) kern.notice kernel: [0.788610] (0)[1:swapper/0][Power Jan 6 22:51:43 (none) kern.notice kernel: [0.797838] (0)[1:swapper/0][Power Jan 6 22:51:43 (none) kern.notice kernel: [0.807047] (0)[1:swapper/0][Power
	Jan 6 22:51:43 (none) kern.notice kernel: [0.816280] (0)[1:swapper/0][Power Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [0.822125] (0)[1:swapper/0]CIRQ ini Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [0.822125] (0)[1:swapper/0]CIRQ ini
	Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [0.831563] (0)[1:swapper/0]htk_pcie Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [0.831563] (0)[1:swapper/0]htk_pcie
	Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [0.905873] (0)[1:swapper/0]mtk_pcie Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [0.913213] (0)[1:swapper/0]mtk_pcie Jan 6 22:51:43 (none) kern warn kernel: [0.920723] (0)[1:swapper/0]mtk_pcie
	Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [1.4485833] (0)[1:swapper/0]mtk_pcie Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [1.455825] (0)[1:swapper/0]mtk_pcie
	Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [1.461430] (U)[1:swapper/0]mtk_pcie Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [1.467126] (O)[1:swapper/0]mtk_pcie Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [1.472803] (O)[1:swapper/0]mtk pcie
	Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [1.473101] (0)[1:swapper/0]mtk_pcie Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [1.484637] (0)[1:swapper/0]mtk_pcie Jan 6 22:51:43 (none) kern.warn kernel: [1.491637] (0)[1:swapper/0]mtk_pcie
	Jan 6 22:51:43 (none) kern.debug kernel: [1.499250] (0)[1:swapper/0]pci 000 Jan 6 22:51:43 (none) kern.debug kernel: [1.499285] (0)[1:swapper/0]pci 000
	Jan 6 22:51:43 (none) kern.debug kernel: [1.499306] (0)[1:swapper/0]pci 000 Jan 6 22:51:43 (none) kern.debug kernel: [1.499358] (0)[1:swapper/0]pci 000 Jan 6 22:51:43 (none) kern.debug kernel: [1.499368] (0)[1:swapper/0]pci 000 ▼

項目	内容
ログをサーバーに送信する	チェックを入れると指定した IP アドレス先のサーバーへ等へログを送信しま
	す。
送信先サーバーIP アドレス	ログを送信する先のサーバー等の IP アドレスを入力します。
〔再読み込み〕ボタン	システムログを更新します。
〔消去〕ボタン	表示されているシステムログを消去します。
〔ダウンロード〕ボタン	現在保存されているログを設定操作している端末にテキストファイル(拡張
	子.txt)として保存、取得することができます。

本機のファームウェアバージョンアップを行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「ファームウェアバージョンアップ」を選択します。



項目	内容
現在のバージョン	動作中のファームウェアバージョンを表示します。
ファイル選択	〔ファイルを選択〕ボタンをクリックすると、ファイルが選択できます。
〔手動バージョンアップ開始〕ボタン	選択したファームウェアを本機へ反映します。 ※1

※1:ボタンをクリックした直後より、反映作業と再起動が実施されます。 バージョンアップ中、再起動中に本機の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないで下さい。

【手順】

ファームウェア	パージョンアップ	現在	のバージョン V1.0.3 (Web Dec 18 16 18 27 CET 2019)
ファームウェアのバージョンアッ?	プを行います。	ファ	イル選択 ファイルを選択 fgn1300w_fw_1■3.bin
バージョンアップ中は、本機の電	源を切ったりケーブルを抜いたりしないで下さい。	Ŧ	動バージョンアップ開始
現在のバージョン ファイル選択 手動バージョンアップ開始	V1.0.3 (Wed Dec 18 14 55 27 CST 2019) ファイルを選択 建訳されていません ① (ファイルを選択)ボタンをクリッ ● ● ● </th <th>7</th> <th>④ [手動パージョンアップ開始]ボタンをクリック ↓ パージョンアップ開始 ファームウェアバージョンアップ ファームウェアバージョンアップ ファームウェアのパージョンアップ ステームウェアのプージョンアップ ステーム</th>	7	④ [手動パージョンアップ開始]ボタンをクリック ↓ パージョンアップ開始 ファームウェアバージョンアップ ファームウェアバージョンアップ ファームウェアのパージョンアップ ステームウェアのプージョンアップ ステーム
	マテオ マテオ ファイルを(N): fgn1300w_fw_103.bin マイル(**) マイル(**) マイル(**) マイル(**) マイル(**) マイル(/	再起動開始 本機の再起動を行います。 本機の電源を切らずに、そのままお待ち下さい。 たり、6.5 mm

7.8 設定保存・読み込み・初期化

本機の設定をファイルに保存する、ファイルから設定を読み込む、設定を工場出荷値に戻すことができます。 左のメニューリストから「システム管理」→「設定保存・読み込み・初期化」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート	
 株式会社ファイバーゲート ■FGN1300W設定項目 ● 状態表示 ● 動作モード ● ネットワーク設定 ● 無線LAN設定 ● システム管理 ● パケット送受信量 統計 ● システムと三夕 ● 時刻情報設定 ● DoS検知・防御設定 ● DoS検知・防御設定 ● DoS検知・防御設定 ● DoS検知・防御設定 ● N/ワークユーティリティ ● システムログ ● ファームウェアバージョンアップ ● 設定保存・読み込み・初期化 ● ユーザー名・パスワード設定 ● IOS Captive Portal設定 ● IOS Captive Portal設定 	設定保存・読み込み・初期化 設定ファイルの保存、読み込み、初期化をします。 設定をファイルに保存 保存 設定をファイルから読み込む ファイルを選択、選択されていません 読込 設定を工場出荷値に戻す 実行 *クリック直後より、初期化のための再起動が実行されます

項目	内容
設定をファイルに保存	〔保存〕ボタンをクリックすると、本機に設定されている情報を設定ファイルと
	して保存、取得することができます。
設定をファイルから読み込む	〔ファイルを選択〕ボタンをクリックすると、任意の場所に保管している設定フ
	アイルを本機上にセットすることができます。
	設定ファイルをセットした後に、〔読込〕ボタンをクリックすると、設定ファイル
	の内容を反映することができます。※1
設定を工場出荷値に戻す	〔実行〕ボタンをクリックすると、本機の設定が全て工場出荷値に戻ります。
	*2

※1:〔読込〕ボタンをクリックした直後より、反映作業と再起動が実施されます。

※2:〔実行〕ボタンをクリックした直後より、初期化作業と再起動が実施されます。

本機の WebGUI ヘログインする際のユーザー名とパスワードを設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ユーザー・パスワード設定」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート	
 ■ FGN1300W設定項目 ● 状態表示 ● 動作モード ● ネットワーク設定 ● 無線LAN設定 ● システム管理 ● パケット送受信量 統計 ● システムモニタ ● 時刻情報設定 ● DoS検知・防御設定 ● DoS検知・防御設定 ● システムログ ● ファームウェアバージョンアップ ● 設定保存・読み込み・初期化 ● ユーザー名・パスワード設定 ● HTTPSリダイレクト設定 ● IOS Captive Portal設定 ● 再起動 ● ログアウト 	ユーザー名・パスワード設定 本機の設定画面にアクセスするためのユーザー名・パスワードを設定します。 ユーザー名とパスワードを空欄に設定すると、ユーザー名・パスワードによる保護が無効となります。 新しいユーザー名 新しいパスワード 新しいパスワード(再入力) キャンセル 保存して再起動

項目	内容
新しいユーザー名	新しいユーザー名を入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワード(再入力)	新しいパスワードで入力した同一内容を入力します。
〔設定変更〕ボタン	ボタンをクリックすると、即時変更内容が反映されます。

7.10 HTTPS リダイレクト設定

接続クライアントの HTTPS アクセスに対するリダイレクト動作を設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「HTTPSリダイレクト設定」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート	
 ■ FGN1300W設定項目 ● 状態表示 ● 動作モード ● ネットワーク設定 ● 無線LAN設定 ● システム管理 ● パケット送受信量 統計 ● システムモニタ ● 防刻情報設定 ● DoS検知・防御設定 ● DoS検知・防御設定 ● システムログ ● ファームウェアバージョンアップ ● 設定保存・読み込み・初期化 ● ユーザー名・パスワード設定 ● IOS Captive Portal設定 ● 両起動 ● ログアウト 	#####@HTTPSアクセスに対するリダイレクト設定です。 HTTPSリダイレクトモード 有効・ 保存 保存して再起動
項目	内容
HTTPS リダイレクトモード	HTTPSリダイレクト設定の動作(無効/有効)を選択します。

7.11 iOS Captive Portal 設定

iOS 端末の Captive Portal 動作を設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「iOS Captive Portal 設定」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート	
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ネットワーク設定 ➡ 無線LAN設定 ➡ システム管理 ➡ ハケワット送受信量 統計 ➡ システムモニタ ➡ 診内情報設定 ➡ ひろちんモニタ ➡ 時刻情報設定 ➡ ひろちんモニタ ➡ 読みした ➡ システムビク ➡ ひろちんモニタ ➡ ジステムログ ➡ ファームウェアバージョンアップ ➡ 設定保存・読み込み・初期化 ➡ ユーザー名・パスワード設定 ➡ IOS Captive Portal設定 ➡ 再起動 ➡ ログアウト 	IOS無線LAN碼末に対するCaptive Porta設定です。 IOS Captive Portal設定 有効 保存 保存して再起動

項目	内容
iOS Captive Portal 設定	iOS Captive Portal 設定の動作(無効/有効)を選択します。

本機の再起動スケジュールを設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ローカル再起動時刻設定」を選択します。



項目	内容
ローカル再起動を有効にする	ローカル再起動を有効にする場合にチェックを入れます。
曜日	「毎日」「月曜」~「日曜」から選択します。
時	「00」~「23」から選択します。(1 時間間隔)
分	「00」~「50」から選択します。(10 分間隔)

注意事項

本機能はアクセスポイントモード時のみの機能になります。ルーターモード時は利用できません。

8 再起動とログアウト

本機の再起動とログアウトを行います。

● 再起動

左のメニューリストから「再起動」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート	
➡ FGN1300W設定項目 ↓ 状態表示 → 動作モード	再起動
 □ ネットワーク設定 □ 無線LAN設定 □ ニュテム管理 	本機の再起動を行います。 再起動中は、有線LAN通信が切断されます。再起動が終わるまで本機の電源は切らないで下さい。
├ <u>」</u> 再起動 └─ 〕 ログアウト	再起動 ※クリック直後より、再起動が実行されます

項目	内容
〔再起動〕ボタン	ボタンをクリックすると即時、本機の再起動が開始します。

● ログアウト

左のメニューリストから「ログアウト」を選択します。

デibergate Inc. 株式会社ファイバーゲート	
 ➡ FGN1300W設定項目 ➡ 状態表示 ➡ 動作モード ➡ ネットワーク設定 ➡ 無線LAN設定 ➡ システム管理 ➡ 再起動 ➡ ログアウト 	ログアウト ログアウトしてよろしいですか? ログアウト

項目	内容
〔ログアウト〕ボタン	ボタンをクリックすると本機の WebGUI からログアウトします。

9 付録

9.1 設定例 - VLAN 設定(ネットワークを分離するケース)

■ ユースケース·利用条件

- ・ Office ネットワークと Guest ネットワークを分離する
- ・ Office ネットワーク、Guest ネットワークともにインターネットへの通信を行う
- ・ Office ネットワークは、192.198.150.1/24 のネットワーク帯とし、Wi-Fi はルート SSID を使用する
- ・ Guest ネットワークは、192.198.160.1/24 のネットワーク帯とし、Wi-Fi はマルチ SSID1 を使用する
- ・ Office ネットワークに接続している端末間の通信は許可する
- ・ Guest ネットワークに接続している端末間の通信は遮断する
- ・ Guest ネットワークに接続する端末は Wi-Fi 接続のみとする



■ 設定値

ネット	インタフェース	VID	VLAN IP	IP アドレス帯	無線クライアント
ワーク			グループ		間通信遮断
Office	有線 LAN ポート 1~4	10	グループ 0	192.168.150.1/24	
ネット	無線 LAN(5GHz)ルート SSID				無効
ワーク	無線 LAN(2.4GHz)ルート SSID				無効
Guest	無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1	20	グループ 1	192.168.160.1/24	有効
ネット	無 線 LAN(2.4GHz)マルチ	30			有効
ワーク	SSID1				

■ 設定内容

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

	VLAN	安定								
	VLANの設定を行	テいます。								
	 同一のVLAN 異なるのVL/ 	I IDで設定さ AN IDで設定	れたLAN されたLA	ポート間(ANポート!	の通信を 間の通信	許可しま を遮断し	す。 ます。			
1	✓ VLANを有効	にする								
	VLAN ID・IPグル	レープ 設定								
	インタ	マフェース		種別	Tag	Trunk	VLAN	ID(2~4094)	VL/	N IPグループ
	有線LAN ポート	1		LAN			10		グ	レープ0 🔹
	有線LAN ポート	2		LAN			10		グ	レープ0 🔻
2	有線LAN ポート	3		LAN			10		グ	レープ0 🔻
	有線LAN ポート	4		LAN			10		グリ	レープ0 🔻
	無線LAN(5GHz)	ルートssid		LAN			10		グ	レープの
З	無線LAN(50	3Hz)マルチS	SSID1	LAN			20		<i>D</i>)	<u>1 15</u>
	無線LAN(50	GHz)マルチS	SSID2	LAN			2		グ	レープの
	無線LAN(50	GHz)マルチS	SSID3	LAN			2		グ	レープの
<u>_</u>	無線LAN(50	3Hz)マルチS	SSID4	LAN			2		<i>グ</i>)	レープの ・
ଞ୍ଚ	無線LAN(2.4GH	2))U- PSSI		LAN			10		(7)	
9	無線LAN(2. 無線LAN/2		-35ID1	LAN			30		2)	
	無線LAN(2. 毎線LAN(2	4GHz)マル=	£SSID3	LAN			2		- (7) (H)	
	無線LAN(2.	4GHz)マルラ	FSSID4	LAN			2			レープ0 ▼
	有線WAN ポート	×1		WAN	1	Image: A state of the state	1			
	VLAN IP設定				_					
	グループ	VLAN IP	IP7	アドレス	サ	ブネット	マスク	DHCPサ-	-)(—	詳細設定
	グループ0		192.1	168.150.1		255.255.2	55.0	有効		LAN設定
4	グループ1		192.1	168.160.1		255.255.2	55.0	無効		IP設定
	グループ2		192.1	168.170.1		255.255.2	55.0	無効		IP設定
	グループ3		192.1	168.180.1		255.255.2	55.0	無効		IP設定
	(6									
	キャンセル	保存	保存し	/て再起重	b					

- ① 「VLAN を有効にする」にチェックを入れます。
- ② Office ネットワーク用に LAN ポート 2~4、無線 LAN (5GHz) ルート SSID、(2.4GHz) ルート SSID の VLAN ID に 10 を入力します。
- ③ Guest ネットワーク用に無線 LAN (5GHz) マルチ SSID1 の VLAN ID に 20、(2.4GHz) マルチ SSID1 の VLAN ID に 30 を入力します。
- ④ VLAN IP 設定内のグループ1 にチェックを入れ、〔IP 設定〕ボタンをクリックします。
- ④-(1) グループ 1IP 設定内の DHCP サーバーを「有効」に設定し、〔保存〕ボタンをクリックします。
- ⑤ 無線 LAN (5GHz)、(2.4GHz) マルチ SSID1 の VLAN IP グループで「グループ1」を選択します。
- ⑥ 〔保存〕ボタンをクリックし、設定を保存します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)、(2.4GHz)」→「基本設定」を選択します。

THE AND AND A	甘中乳合			dan (cha)			(1)					
│ 無線LAN 5GHZ #	基本設定	│ 無線LAN 2.4GH	Z 基本設定	無線L	AN 5GHZ 🟹	ルナSSID設定	8 -(1)					
無線LAN 5GHzの基本設定(周波数、 設定変更後、本機の再起動が行われて	SSID、チャンネル設定など)を行います。 ていません。	無線LAN 2.4GHzの基本設定(周波設 設定変更後、本機の再起動が行われ	数、SSID、チャンネル設定など)を行います。 I ていません。	無線LAN SGF 設定変更後、 変更内容を創	セのマルチSSID設定を行いる 本価の両総動が行われている 作に反映させるためには、オ	tす。 包ん。 梅を問む動する必要があります。						
A CHER SHRICK CE SIZULI	a. 4082.4982899.02030.00038.95	変更内容を動作に反映させるために	は、本機を再起動する必要があります。	マルチSSID	有效 周波取	マルチ\$\$10	無線 クライアント語	プロード	带城	送供速度制度	受偿法度利用	IS HE THE R
 無線LANを無効にする 		 無線LANを無効にする 					通信波乐	\$\$ID	(9083838)	(Mops)	Сморьл	05475F
周波数	5 GHz (a+n+ac) V	周波数	2.4 GHz (b+g+n) ▼	SSID1	S GHz (a+n+ac) *	Guest_5G	×	有効・	Auto •	0	0	表示
チャンネル幅	20MHz V	チャンネル幅	20MHz 🔻	SSID2	5 GHz (a+n+ac) *	fgn1300W_VAP2_5G	8	有効・	Auto *	0	0	表示
拡張チャンネル	自動 ▼	拡張チャンネル	十個 ▼	SSID3	5 GHz (a+n+ac) *	fgn1300W_VAP5_5G		有効!」と	Auto *	0	0	表示
チャンネル選択範囲	ALL 🔻	チャンネル番号	自動▼	SSID4	5 GHz (a+n+ac) *	91300W_VAP4_5G	8	有効・	Auto ¥	0	0	表示
チャンネル番号	自動(DFS) ▼	ルートSSID設定		キャンセル	保存 保存して再起	3 0						
ルートSSID設定												
		IL- ESSID	Office 2.4G	dan order	4110 1011-1			4.5				
ルートSSID	Office_5G	ルートSSID	Office_2.4G	無線L	AN 2.4GHz	マルチSSID設定	8 -(1)				
ルートSSID	Office_5G	ルートSSID ⑦ 無線クライアント開通信通	Office_2.4G	無線LAN 2.4	AN 2.4GHz	マルチSSID設定	<u> 8–(</u>	1)				
ルートSSID (ア) 無線クライアント開通信返 プロード非ヤストSSID	Office_5G	ルートSSID () 無線クライアント開通信道 ブロードキャストSSID 単はくになる第	Office_2.4G 意断	無線LAN 2.4 助定空要表。 空空内容を知	AN 2.4GHz	マルチSSID設定 います。 ません。 本場を再起着する必要があります。	<u>8–(</u>	<u>1)</u>				
ルートSSID 「 「 「 「 に ド 非 マストSSID 帯域 (伝達速度)	Office_5G 有効▼ 自動 ▼	ルートSSID (ア) 無線クライアント開選伝道 プロード=ャストSSID 帯域(伝述速度)	Office_2.4G 脑断 □ 有効 ▼ 目勤 ▼	無線L BERLAN24 BERREN SERNES	AN 2.4GHz ロロロマルチssiの設定を行 本時の利息能が行われてい 体に反映させるためには、	マルチSSID設定 います。 ません。 本価を再総計する必要があります。	<u>8-(</u>	<u>1)</u>				
ルートSSID 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Office_5G 新 有効す 日勤 の Mbps (0:制限集し)	ルートSSID	0冊ce_2.4G 勝 有効 ▼ 自動 ▼ 0 Mbps (0:制肥無し)	無線L 日間LAN 24 日間LAN 24 日間LAN 24 日間LAN 24	AN 2.4GHz のHEのマリンチSSID設定を行 本価の周辺創か行われてい 新作に気味させるためには、 有効 周波数	マルチSSID設立 います。 ません。 本地を町回都する必要があります。 マルチ\$SID	(8)-(1) 70-F FF2F		EGEQUIR (Mins)	提供速度如用 (Minos)	体統態線
ルートSSID 意経クライアント開連信道 プロードキャストSSID 帯信 (伝送速度) 送信速度制限 (Mbps) 受信速度制限 (Mbps)	Office_5G 新日 1月20 日数 0 Mbps (0:前限篇L) 0 Mbps (0:前限篇L)	ルートSSID	Office_2.4G 有効 目動 0 Mbps (0:制居臣」) 0 Mbps (0:制居臣」)	無線L	AN 2.4GHz GHEのマルチssin段を支行 本価の利益能が行られてい 新作に気焼させるためには、 和炊業 和炊業 和炊業 日本市	マルチSSID設立 います。 ません・ 本海を同感する必要があります。 マルチSSID	第二日本 第二日本 第二日本 第二日本 第二日本 第二日本 第二日本 第二日本	70-F \$70-F \$10	带成 (伝送速度)	E CLE (I tops)	HE GLEIZ SIFR (MOps)	体統問題 クライアント
ルートSSID 加速クライアント開進信道 プロードキャストSSID 帯球(伝送速度) 送信逆度制度(Mbps) 受信逆度制度(Mbps) 技術運業のフィアント	Office_5G 新 自動 0 Mbps (0: 制限集し) 0 Mbps (0: 制限集し) 麦元	ルートSSI0 ■2007 デロードキャストSSI0 単位 伝転送達3 送信送度4展(Mbps) 長信送度4展(Mbps) 接続製をライアント	の前ce_2.4G 第第 有効* 自動* 0 Mops (0:制語集し) 0 Mops (0:制語集し) 夏素	無線L	AN 2.4GHZ ゆせのマリナテSID設さを行 本語の死に起かられてい 外に反映させるためには、 ************************************	マルチSSID設立 2015年、 2	■ 80-(100-(1) プロード キャスト 5510	等減 (仮送速度) Auto ▼	EGURIZ BURR (Mops) 0	Mops)	体統無疑 クライアント 表示
ルートSSID	Office_5G 有力・ 目動・・ の Mbps (0: 制限無し) の Mbps (0: 制限無し) 表示	ルート5500 (ア) 気後クライアント朝達低近 プロードキャスト550 帯域(伝述速度) 送信速度制限(Mbps) 長信差異制限(Mbps) 法統無能クライアント	Office_2.4G 第201 有効・ 目動・ 0 Mbps (0:制限集し) 0 Mbps (0:制限集し) 0 Mbps (0:制限集し) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	無線L 単端LAN 2.4 認定変更後、 変更的多を見 気の力 いたす5500 59001	AN 2.4GHz GHEのマルチSID設を行 株的の死DEMが行れてい 体にお除させるためには、 作用 単 2.4 GHz (b+g+n) こ 2.4 GHz (b+g+n)	マルチSSID設分 います。 ません。 ままを利息着する必要かあります。 マルチ550 マルチ550 マルチ550 マルチ250 マルチ250	第2 第2 クライアント目 通信証明 回 一 一 一	1) プロード キャスト 客部0 有効・	琴道 (伝送速度) Auto ▼ Auto ▼	EGLECENCE (Mops) 0	EGLERANTA (Mitps) 0	体統態線 クライアント 要示 表示
ルートSSD	Office_5G 有効 ▼ 自数 ▼ 0 Mbps (0: 制限集し) 0 Mbps (0: 制限集し) 表示 マバルチSSID設定	ルートSSI0	0冊fce_2.4G 画面 ● 有効 ● 目動 ● Mbps (0:制限集し) ● Mbps (0:制限集し) 表示 ぞくレチSSID設定	無線し 照信LAN 2.4 認定変更。 変更的多数 変更的多数 の いたチSSD SSID1 SSID2 SSID2 SSID3	AN 2.4GHz oHao (1).# saio)82.8(7) ##0.81086.9(1).8(8) ##0.81086.9(1).8(8) ##0.81086.9(1).9(1).9(1) ##0.81086.9(1).9(1).9(1) ##0.81086.9(1).9(1).9(1) ##0.81086.9(1).9(1).9(1).9(1) ##0.81086.9(1).9(1).9(1).9(1).9(1) ##0.81086.9(1).9(1).9(1).9(1).9(1).9(1).9(1).9(1)	マルチSSID設立 2015. 2014. ままや月回日 3 2 世外あります。 マルチ550 1 [Guest_240] 1 [Guest_240] 1 [Guest_240] 1 [Guest_240] 1 [Guest_240] 1 [Guest_240] 1 [Guest_240] 1 [Guest_240]	8 (8)-() 100 (7)) 100	1) プロード キャスト 客助 有効・ 有効・	平地 (伝送道家) Auto ・ Auto ・ Auto ・	Mops) 0	Me GUERANPA (Mops) 0 0	#統無疑 95772ント 要示 表示 表示
ルートSSID	Office_5G 新 有効、 目数、 0 Mbps (0: 制限集し) 0 微ps 表示 マルチSSID設定	ルートSSID 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0冊ce_2.4G 酒助 一日動 0 Mbps (0:制原無し) 0 Mbps (0:制原無し) 夏素 マルチSSID設定	無線し 用限LAN 2.4 変変変要素 変更均率を計 SSID1 SSID1 SSID2 SSID2 SSID2	AN 2.4GHz abb/0701/9701028287 #800702897010000 #800702897010000 #800702897010000 #800702897010000 #80070289700000 #8007028970000000 #8007028970000000000000000000000000000000	マルチSSID設立 UET. ENA ENA マルチSSID Coved.240 Pgr1300W_VAP2.24G Pgr1300W_VAP2.24G Pgr1300W_VAP2.24G Pgr1300W_VAP2.24G	(8)-()	1) プロード キャスト 客部 有効・ 有効・ 有効・	等2년 (伝送速度) Auto マ Auto マ (Auto マ (Auto マ	E 613.(1 sole) (Mbps) 0 0 0	6 (Mbps) / 0 0 0 0	#続題録 クライアント 夏示 夏示 夏示 夏示
ルートSSD 第級クライアント朝患感遊 プロードキャストSSD 帯板(伝送速度) 足伝送度制用(Mbps) 技術語像クライアント マルチSSD設石 学校・レレレ 余存して、 保存して、 保存して、 保存して、 保存して、	Office_5G 有力・ 目動・・ 0 Mbps (0: 制限集し) 0 Mbps (0: 制限集し) 表示 マルチSSID設定	ルート5500 (ア) 気後クライアント研選長近 プロードキャスト530 帯域(伝述速度) 送伝速度構成(Mbps) 受信速度構成(Mbps) 生統無酸クライアント マルチ550032 (キャンゼル) 保存 保存して	0冊ce_2.4G 構成 「有効・ 「自動・ 0 Mtops (0:制限集し) 0 Mtops (0:制限集し) 0 のけそSSID設定 こ再起動	無線に 田崎LM2 24 シス定また。 定たいまた のでする。 ので、 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 の のでの のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでの う のでの う のでの う のでの う のでの う のでの う の う	AN 2.4GHz Ores: 71.7450028347 ****: 71.7450028347 ****: 71.7450028347 ****: 71.7450028347 ****: 71.7450028347 ****: 71.7450028347 ****: 71.7450028347 ***: 71.7	マルチSSID設立 メオー、 またみ、 またみ、 なんがあらます。 なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがあらます。 「なんがある」 「なんがなる」 「なんがなる」 「なん」 「なんがある」 「なんがなる」 「なんがある」 「なんがある」 「なんがある」 「なんがある」 「なん」 「、 「なん」 「なん」 「なん」 「なん」 「なん」 「、 「なん」 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、		1) プロード キャスト 多切 有効 * 有効 * 有効 *	零減 (仮送港) Auto ・ Auto ・ Auto ・ Auto ・	(Mbps) 0 0 0 0	(Mbps) 0 0 0 0 0	体統無線 クライアント 夏示 夏示 夏示

⑦ 基本設定内の「無線クライアント間通信遮断」のチェックを外し、〔保存〕ボタンをクリックします。

⑧ 基本設定内の〔マルチ SSID 設定〕ボタンをクリックし、マルチ SSID 設定画面を表示します。

⑧-(1) マルチ SSID1 の「無線クライアント間通信遮断」にチェックを入れ、〔保存〕ボタンをクリックします。

⑨ 最終設定画面にて〔保存して再起動〕をクリックし、設定が反映したら完了です。

9.2 設定例 - VLAN 設定(Trunk ポート設定を利用するケース)

- ユースケース・利用条件
- ・ Office ネットワークと Guest ネットワークを分離する
- ・ Office ネットワーク、Guest ネットワークともにインターネットへの通信を行う
- ・ Office ネットワークは、192.198.150.1/24 のネットワーク帯とし、Wi-Fi はルート SSID を使用する
- ・ Guest ネットワークは、192.198.160.2/24 のネットワーク帯とし、Wi-Fi はマルチ SSID1 を使用する
- ・ Office ネットワークに接続している端末間の通信は許可する
- ・ Guest ネットワークに接続している端末間の通信は遮断する
- ・ ルーターモード機器の配下に AP モードの機器を1台接続し拡張する
- ・ ルーターモード機器と AP モード機器は LAN ケーブル1本で接続する(L1 ポート同士)



■ 設定値

ルーターモード側

ネット	インタフェース	VID	VLAN IP	IP アドレス帯	無線クライ
ワーク			グループ		アント間通
					信遮断
Office	有線 LAN ポート 1	Trunk	グループ 0		
ネット		有効			
ワーク		(1)			
	有線 LAN ポート 2~4	10	グループ 0	192.168.150.1/24	
	無線 LAN(5GHz)ルート SSID				無効
	無線 LAN(2.4GHz)ルート SSID				無効
Guest	無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1	20	グループ 1	192.168.160.1/24	有効
ネット	無線 LAN(2.4GHz)マルチ	30			有効
ワーク	SSID1				

AP(アクセスポイントモード)側

ネット	インタフェース	VID	無線クライ
ワーク			アント間通
			信遮断
Office	有線 LAN ポート 1	Trunk	
ネット		有効	
ワーク		(1)	
	有線 LAN ポート 2~4	10	
	無線 LAN(5GHz)ルート SSID		無効
	無線 LAN(2.4GHz)ルート SSID		無効
Guest	無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1	40	有効
ネット	無線 LAN(2.4GHz)マルチ	50	有効
ワーク	SSID1		

■ 制約条件

本ネットワーク構成において、Guest ネットワーク向けに弊社のリダイレクトサービスを利用する場合、以下の Office ネットワークに接続する端末についてもリダイレクト対象となります。

- ・ ルーター側の有線 LAN に接続している端末
- ・ アクセスポイント側で有線 LAN に接続している端末
- ・ アクセスポイント側で無線 LAN に接続している端末

■ 設定内容 1-1 (ルーターモード側)

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

-	VLAN	没定								
	VLANの設定を行	行います。								
1.	 同一のVLAN 異なるのVLA 	N IDで設定さ AN IDで設定	れたLAN: されたLA	ポート間(Nポート	の通信を 間の通信	:許可しま を遮断し	す。 ます。			
C	✓ VLANを有効	かにする								
	VLAN ID・IPグ	ループ 設定								
	インダ	タフェース		種別(Tag	Trunk	VLAN	ID(2~4094)	VLA	N IPグループ
	有線LAN ポート	~1		LAN			1		グル	ープ0 🔹
	有線LAN ポート	<u>^</u> 2		LAN			10		グル	-プ0 🔹
3)	有線LAN ポート	<u>~</u> 3		LAN			10		グル	ープ0 🔻
ľ	有線LAN ポート	-4		LAN			10		グル	ープ0 🔻
	無線LAN(5GHz)))U- HSSID)	LAN			10		グル	-70 •
₽	無線LAN(50	GHz)マルチ	SSID1	LAN			20		グル	
	無線LAN(50 毎億LAN/50	GHz)マルチ GHz)マルチ	SSID2	LAN			2		グル	-70 •
	無線LAN(50 毎線LAN(50	GHZ)マルチ: GHNフルチ		LAN			2		クル	- 70 *
হ	無線LAN(2 4GH	17)1L- 585	ID	LAN			2		101	
ă	無線LAN(2.	.4GHz)マル	÷ £SSID1	LAN	0		30		グル	-71 • 6
ľ	無線LAN(2.	4GHz)マルラ	£SSID2	LAN			2		グル	-70 1
	無線LAN(2.	4GHz)マルチ	£SSID3	LAN			2		グル	ープ0 🔻
	無線LAN(2.	4GHz)マルチ	≄SSID4	LAN			2		グル	ープ0 🔻
	有線WAN ポート	<u>۲</u>		WAN	1	1	1			-
	VI AN IP設定									
	グループ	VI AN IP	ID 1	7ドレス	++	ブネット	マスク	DHCP#-	<i>л</i> -	詳細設定
	Hu to		102.4	60 150 4		255 255 2	55.0	5.00		LANEC
	シループ0		192.1	108.150.1		200.255.2	:55.0	有効		LAIN設定
φ	クループ1	₹	192.1	68.160.1		255.255.2	:55.0	無効	_	IP設定●
	グループ2		192.1	68.170.1		255.255.2	55.0	無効		IP設定
	グループ3		192.1	68.180.1		255.255.2	55.0	無効		IP設定
1	0	D			_					
	キャンセル	保存	保存し	て再起重	b					

- ① 「VLAN を有効にする」にチェックを入れます。
- ② LAN ポート1の「Tag」と「Trunk」にチェックを入れます(VLAN ID は自動的に1が入力されます)。
- ③ Office ネットワーク用に LAN ポート 2~4、無線 LAN(5GHz)ルート SSID、(2.4GHz)ルート SSID の VLAN ID に 10 を入力します。
- ④ Guest ネットワーク用に無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1 の VLAN ID に 20、(2.4GHz)マルチ SSID1 の VLAN ID に 30 を入力します。
- ⑤ VLAN IP 設定内のグループ1にチェックを入れ、〔IP 設定〕ボタンをクリックします。
- ⑤-(1) グループ 1IP 設定内の DHCP サーバーを「有効」に設定し、〔保存〕ボタンをクリックします。
- ⑥ 無線LAN(5GHz)、(2.4GHz)マルチ SSID1の VLAN IP グループで「グループ1」を選択します。
- ⑦ 〔保存〕ボタンをクリックし、設定を保存します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)、(2.4GHz)」→「基本設定」を選択します。

無線LAN 5GHz 基	基本設定	無線LAN 2.4GH	z 基本設定	無線L	AN	I 5GHz マノ	ルチSSID設定	9-(1))				
無線LAN 5GHzの基本設定(周波数、: 設定変更後、本機の再起動が行われて	SSID、チャンネル設定など)を行います。 いません。	無線LAN 2.4GHzの基本設定(周波器 設定変更後、本機の再起動が行われ	は、SSID、チャンネル設定など)を行います。 ていません。	無線LAN 5G 設定変更後、 変更内容を使	3Hzのマ 、本価の 創作に及	ハノチSSID設定を行いま の周記値が行われていま 説使させるためには、本	1支。 20人。 梅を内記館する必要があります。						
■ 無線LANを無効にする	、本体を再起到する必要があります。	変更内容を動作に反映させるために	は、本機を再起動する必要があります。 	マルチSSID	有助	周波数	マルチSSID	鉄線 クライアント間 通信波派	プロード キャスト \$\$0	帯城 (伝送速度)	送机建度制度 (Mbps)	受偿速度和限 (Mbps)	総統教録 クライアント
周波数	5 GHz (a+n+ac) 🔻	国家教	2.4 GHz (b+a+n) X	SSID1	2	5 GHz (a+n+ac) *	Guest_5G	×	有効「	Auto 🔻	0	0	表示
チャンネル幅	20MHz 🔻	チャンネル幅	20MHz V	SSID2		5 GHz (a+n+ac) *	fgn1300W_VAP2_5G	8	有効▼	Auto *	0	0	表示
拡張チャンネル	自動 ▼	拡張チャンネル		SSID3	8	5 GHz (a+n+ac) 🔻	Ign1300W_VAP5_5G	2	有效 *	Auto *	0	0	表示
チャンネル選択範囲	ALL 🔻	チャンネル番号		SSID4		5 GHz (a+n+ac) ¥	5911300W_VAP4_5G	2	有効▼	Auto *	0	0	表示
チャンネル番号	自動(DFS) ▼	ルートSSID設定		キャンセル	1	存 休存して再起	80						
ルートSSID ルートSSID 第線クライアント開連信道画 プロードキャストSSID	Office_5G 行 有効 ▼	ルートSSID 10 一ドキャストSSID 10 一ドキャストSSID 市法 (伝述速度)	Office_2.4G 断 有効▼	無線		N 2.4GHz のマルチssiの設定を行 の希知能が行われてい 反映させるためには、	マルチSSID設定 、ます。 ません。 本語を両記載する必要があります。	(<u>(1)</u>				
带项(伝送速度) 送信速度制限(Mbps)	自動 0 Mbps (0:制限無し)	送信速度制限(Mbps) 受信速度制限(Mbps)	0 Mbps (0:制限無し) 0 Mbps (0:制限無し)	マルチSSID	P130	周波取	マルチssiD	無線 クライアント 通信送新	プロー) キャス1 \$\$10	、 一	进机速度制度 (Mbps)	使但进度和用 (Mbps)	接続無線 クライアント
	Widps (0: e)REE(U)	逆結毎線カライマント	*-	SSID1	8	2.4 GHz (b+g+n)	Guest_2.4G	×	制物 *	Auto •	0	0	表示
接税無線クライアント	农亦	somethic J-17-J1	44.01	SSID2	8	2.4 GHz (b+g+n)	fgn1300W_VAP2_2.4G		有効・	Auto •	0	0	表示
マルチSSID設定	マルチSSID設定	マルチSSID設定	マルチSSID設定	\$8ID3	8	2.4 GHz (b+g+n) *	fgn1300W_VAP3_2.4G	8	有效,	Auto *	0	Ó	表示
				SSID4	8	2.4 GHz (b+g+n)	fgn1300W_VAP4_2.4G	×	有効*	* one	0	0	表示
キャンセル 保存 保存して		キャンセル 保存 保存して	再起動	キャンセル	L I	保存して再続	•••••						

⑧ 基本設定内の「無線クライアント間通信遮断」のチェックを外し、〔保存〕ボタンをクリックします。

⑨ 基本設定内の〔マルチ SSID 設定〕ボタンをクリックし、マルチ SSID 設定画面を表示します。

⑨-(1) マルチ SSID1 の「無線クライアント間通信遮断」にチェックを入れ〔保存〕ボタンをクリックします。

⑩ 最終設定画面にて〔保存して再起動〕をクリックし、設定が反映したら完了です。

■ 設定内容 1-2 (アクセスポイントモード側)

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

	VLAN設定				
	VLANの設定を行います。				
	 同一のVLAN IDで設定されたLANポート間の 異なるのVLAN IDで設定されたLANポート間)通信を許可()の通信を遮護	します。 新します。		
1	✓ VLANを有効にする				
	VLAN ID・IPグループ 設定				
	インタフェース	種別	Tag	Trunk	VLAN ID(2~4094)
	有線LAN ポート1	LAN (2)			1
	有線LAN ポート2	LAN			10
3	有線LAN ポート3	LAN			10
1	有線LAN ポート4	LAN			10
	無線LAN(5GHz)ルートSSID	LAN			10
1	無線LAN(5GHz)マルチSSID1	LAN			40
	無線LAN(5GHz)マルチSSID2	LAN			2
	無線LAN(5GHz)マルチSSID3	LAN			2
	無線LAN(5GHz)マルチSSID4	LAN			2
3	無線LAN(2.4GHz)ルートSSID	LAN			10
4	無線LAN(2.4GHz)マルチSSID1	LAN			50
	無線LAN(2.4GHz)マルチSSID2	LAN			2
	無線LAN(2.4GHz)マルチSSID3	LAN			2
	無線LAN(2.4GHz)マルチSSID4	LAN			2
	有線WAN ポート1	LAN	1	1	1
	5 キャンセル 保存 保存して再起動				

① 「VLAN を有効にする」にチェックを入れます。

- ② LAN ポート1の「Tag」と「Trunk」にチェックを入れます(VLAN ID は自動的に1が入力されます)。
- ③ Office ネットワーク用にLAN ポート 2~4、無線 LAN(5GHz)ルート SSID、(2.4GHz)ルート SSID の VLAN ID に 10 を入力します。
- ④ Guest ネットワーク用に無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1 の VLAN ID に 40、(2.4GHz)マルチ SSID1 の VLAN ID に 50 を入力します。
- ⑤ 〔保存〕ボタンをクリックし、設定を保存します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)、(2.4GHz)」→「基本設定」を選択します。

無線LAN 5GHz 基本設定		無線LAN 2.4GHz 基本設定 無線LAN 5GHz マルチSSID設定 ⑦-(1) ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
無線LAN 5GHzの基本設定(周波数、SSID、チャンネル設定など)を行います。 設定変更後、本機の再起動が行われていません。 変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。		無線LAN 2.4GHzの基本設定(周波数、SSID、チャンネル設定など)を行います。 設定変更後、本機の再起動が行われていません。 変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。		2022年後、本地の利益が行われていましん 2025年後、大地の利益が行われていましん。 2025年後の大地の大地の大地の大地の大地の大地の大地の大地の大地の大地の大地の大地の大地の								
 無線LANを無効にする 	f GHz (states) T	 無線LANを無効にする 		マルチ\$SID 相	和 周波取	₹ルチ\$SID	かねま クライアント間 通信波派	50-F \$72F \$80	帯域 (伝送速度)	IX413£3£4478 (Mbps)	受低速度制用 (Mbps)	信税無線 クライアント
チャンネル幅	20MHz V	周波数 チャンネル幅	2.4 GHz (b+g+n) ▼ 20MHz ▼	SSID2	5 GHz (a+n+ac) *	fgn1300W_VAP2_5G	8	和効で	Auto •	0	0	表示
拡張チャンネル チャンネル選択範囲	自動 ▼ ALL ▼	拡張チャンネル チャンネル番号	上側▼	SSID3 SSID4	5 GHz (a+n+ac) *	Ign1300W_V0P4_56	8	有効* 有効*	Auto •	0	0	表示
チャンネル番号 ルートSSID設定	自動(DFS) ▼	ルートSSID設定	06 240	キャンセル	保存 保存して再起	185						
ルートSSID () () () () () () () () () ()	Office_5G ■ 有効 ▼	ルートSSIU () 無線クライアント開通信遮 ブロードキャストSSID 思想(にはゆき)	0mce_2.4G	無線LAN 2.40 助定党要表。 党更内容を動	AN 2.4GHz HEのマルチSSID設定を行 N価の両超動が行われてい たに反映させるためには、	マルチSSID設な います。 ません。 本場を両総動する必要があります	<u>e (7)-(</u>	<u>(1)</u>				
帯域(伝送速度) 送信速度制限(Mbps) の伝達度利限(Mbps)	自動 の Mbps (0:制限無し)	送信速度制限(Mbps) 受信速度制限(Mbps)	<u>日朝</u> 0 Mbps (0:制限無し) 0 Mbps (0:制限無し)	マルチSSD	198 周波取	マルチssiD	無線 クライアント 通信送所	の プロート キャスト SSID	· 带城 (伝送速度)	进机速度制限 (Mbps)	受信进度利用 (Mops)	接続無限 ウライアント
安治送(xelling (molps) 接続無線クライアント	表示 Wops (0: all股票())	接続無線クライアント	表示	SSID1	2.4 GHz (b+g+n)	Guest_2.4G	-	●第効●	Auto •	0	0	表示
マルチSSID設定	マルチSSID設定	マルチSSID設定	マルチSSID設定	58iD3	2.4 GHz (b+g+n)	fgn1300W_VAP3_2.4G	×	有效・	• ana	0	0	表示
キャンセル 保存 保存して再越	요동차	キャンセル 保存 保存して	再起動	\$9104 キャンゼル	 2.4 GHz (b+g+n) 保存 保存 保存して再 	fgn1300W_V2+_2.4G	×	有効*	Auto *	0	0	表示

⑥ 基本設定内の「無線クライアント間通信遮断」のチェックを外し、〔保存〕ボタンをクリックします。

- ⑦ 基本設定内の〔マルチ SSID 設定〕ボタンをクリックし、マルチ SSID 設定画面を表示します。
- ⑦-(1) マルチ SSID1 の「無線クライアント間通信遮断」にチェックを入れ、〔保存〕ボタンをクリックします。

⑧ 最終設定画面にて〔保存して再起動〕をクリックし、設定が反映したら完了です。

9.3 工場出荷值一覧

	機能		設定範囲	初期值
動作モード			ルーター、アクセスポイント	ルーターモード
LAN 設定		■ アドレス		192.168.150.1
		サブネットマスク		255.255.255.0
		DHCP サーバー機 能	無効、有効	有効
		付与 IP アドレス範囲		先頭:192.168.150.30 終了:192.168.150.254
		リース期限	15~10080 分	360 分
		802.1d Spanning Tree	無効、有効	無効
WAN 設定	IPv4 設定	WAN 接続モード	・IP アドレス固定 ・DHCP クライアント ・PPPoE クライアント	DHCP クライアント
		MTU Size	1400~1500 bytes	1492
		DNS	自動取得、固定設定	自動取得
		UPnP	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)
		IGMP Proxy	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)
		WAN 側からの PING 要求	チェックなし(拒否)、チェックあり(許可)	チェックなし(拒否)
		WAN 側からの設定 画面ログイン要求	チェックなし(拒否)、チェックあり(許可)	チェックなし(拒否)
		L2TP/IPSec/PPTP パススルー	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)
	IPv6 設定	WAN 接続モード	・無効 ・v6 コネクトモード	無効
VLAN 設定		VLAN 機能	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)
VLAN IP 設定		VLAN IP 設定	VLANIP グループ:グループ 0~3	グループ0
有線 LAN ポート	L1~4、 WAN	通信レート	 Auto 10Base-Half-duplex 10Base-Full-duplex 100Base-Half-duplex 100Base-Full-duplex 1000Base-Full-duplex 	Auto
		電源	OFF、ON	ON
無線 LAN 設定	ルート SSID	無線 LAN 機能	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)
5GHz/2.4GHz 共通		周波数	·5GHz :(a),(n),(a+n),(n+ac),(a+n+ac) ·2.4GHz:(b),(g),(n),(b+g),(g+n),(b+g+n)	·5GHz(a+n+ac) ·2.4GHz(b+g+n)
		チャンネル幅	·5GHz :20MHz,40MHz,80MHz ·2.4GHz:20MHz,40MHz	·5GHz :20MHz ·2.4GHz:20MHz
		拡張チャンネル	・5GHz :自動 ・2.4GHz:上側、下側	·5GHz :自動 ·2.4GHz:上側
		チャンネル選択範 囲(5GHz 対象)	5GHz :ALL、W52、W56	5GHz :ALL
		チャンネル番号	・5GHz :自動(DFS),36,40,44,・・・,140 ・2.4GHz:自動,1,2,3,・・・,13	·5GHz :自動(DFS) ·2.4GHz:自動
		ルート SSID	1~32 文字以内の半/全角の英字、数 字、記号	RootSSID_5Ghz RootSSID_2.4Ghz
		無線クライアント間 通信遮断	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)
		ブロードキャスト SSID	無効、有効	有効
		帯域(伝送速度)	·5GHz :自動,NSS1-MCS0~NSS1- MCS9,NSS2-MCS0~NSS2-MCS9 ·2.4GHz:自動,1M,2M···,MCS15	·5GHz :自動 ·2.4GHz:自動
		セキュリティ	・無効/WEP/WPA/WAP2/WPA_Mixed ・TKIP/AES/TKIP・AES	無効

機能			設定範囲	初期値	
無線 LAN 設定 5GHz/2.4GHz	マルチ SSID1~4	無線 LAN 機能	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)	
共通		マルチ SSID	1~32文字以内の半/全角の英字、数 字、記号	MultiSSID1_5Ghz MultiSSID2_5Ghz MultiSSID3_5Ghz MultiSSID4_5Ghz MultiSSID1_2.4Ghz MultiSSID2_2.4Ghz MultiSSID2_2.4Ghz MultiSSID3_2.4Ghz MultiSSID4_2.4Ghz	
		無線クライアント間 通信遮断	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		ブロードキャスト SSID	無効、有効	有効	
		帯域(伝送速度)	·5GHz :Auto,NSS1-MCS0~NSS1- MCS9,NSS2-MCS0~NSS2-MCS9 ·2.4GHz:Auto,1M,2M···,MCS15	·5GHz :Auto ·2.4GHz:Auto	
		セキュリティ	・無効/WEP/WPA/WAP2/WPA_Mixed ・TKIP/AES/TKIP・AES	無効	
	拡張設定	フラグメントしきい値	数値(256~2346)	2346	
		RTSしきい値	数值(0~2347)	2347	
		ビーコン間隔	数值(20~1024)	100	
		プリアンブルタイプ (2.4GHz 対象)	ロングプリアンブル/ショートプリアンブル	ロングプリアンブル	
		プロテクション	有効、無効	無効	
		Aggregation	有効、無効	有効	
		Short Gl	有効、無効	有効	
		送信出力	100%/70%/50%/35%/15%	100%	
	アクセス制御設定		・無効 ・登録した MAC アドレスアクセス許可 ・登録した MAC アドレスアクセス拒否	無効	
	スケジュール	∠設定	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)	
システム管理 システムモニタ 時刻情報設定(NTP クライアント) DoS 検知・防御設 定		システムモニタ	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		時刻情報設定(NTP クライアント)	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		DoS 検知·防御設 定	無効、有効	·Port Scan:有効 ·SYN Flood:有効	
		HTTPS リダイレクト設 定	無効、有効	有効	

9.4 入力·登録制限值一覧

機能	項目	入力·登録制限值
LAN 設定	DHCP 固定 IP アドレス	20 件
	コメント	20 文字以内の半角英数字、記号
		, (コンマ) & (アンパサンド); (セミコロ
		ン)を除く
WAN 設定	MTU size (DHCP クライアント)	数値(1400~1500)
	MTU size(IP アドレス固定)	数値(1400~1500)
	MTU size (PPPoE クライアント)	数値(1360~1492)
	PPPoE ユーザー名	1~64 文字以内の半/全角の英字、数字、記号
	PPPoE パスワード	1~64 文字以内の半/全角の英字、数字、記号
VLAN 設定	VLAN ID	数値(2~4094)
IPv4 ファイアウォール設定	MAC フィルタリング	20 件
	URL フィルタリング	20 件
	ルーター宛フィルタリング	100 件
	ルーター通過フィルタリング	100 件
	ポートマッピング	200 件
		20 文字以内の半角英数字、記号
	コメント	, (コンマ) & (アンパサンド); (セミコロ
		ン)を除く
無線 LAN 設定	SSID	1~32 文字以内の半/全角の英字、数字、記号
	アクセス制御	20 件
ユーザー名・パスワード設定	ユーザー名	16 文字以内の半角の英字、数字、記号
	パスワード	32 文字以内の半角の英字、数字、記号

利用可能記号一覧

!(感嘆符)	, (דעב)	[(始め亀甲括弧)
"(ダブルクォーテーション)	- (ハイフンマイナス)	¥(円記号)
#(番号記号)	.(ピリオド)](終わり亀甲括弧)
\$(ドル記号)	/(スラッシュ)	^ (サーカムフレックス)
%(パーセント記号)	: (כחב)	_ (アンダースコア)
&(アンパサンド)	; (セミコロン)	`(グレイヴ・アクセント)
'(アポストロフィー)	<(不等号(より小))	{(始め波括弧)
((始め丸括弧)	=(等号)	(縦線)
)(終わり丸括弧)	>(不等号(より大))	}(終わり波括弧)
* (アスタリスク)	?(疑問符)	⁻ (オーバーライン)
+(プラス記号)	@(単価記号)	

9.5 製品仕様

カテゴリ	項目	概要	備考
ハードウェア	CPU	1. 3GHz	
仕様	RAM	512MB DDR3	
	Flash ROM	128MB	
	ボタン	電源スイッチ	
		リセットボタン	
	LED	⊖(電源)	緑色
		WAN	緑色
		OP	緑色
		L1~L4 (LAN1~4)	緑色
		S1~S3 (STATUS1~3)	緑色
		2.4G、5G (Wi-Fi)	緑色
	イーサネット:LAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45 ×4	
	イーサネット:WAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45 ×1	
	無線 LAN	IEEE802. 11 b/g/n/a/ac	
	電源	DC12V/2A(50/60Hz)	
		Power over Ethernet(IEEE802.3af/at 準拠)	
	外形寸法	約 167 (W) × 117 (H) × 30 (D) mm	突起部除く
	質量	約 270g	製品本体のみ
	消費電力	最大:約13W	
	動作環境	温度:-10~40℃、湿度 5~90%	結露なきこと
	保存環境	温度:-20~70℃、湿度 5~90%	結露なきこと
有線 LAN 仕様	対応規格	IEEE802.3i (10BASE-T)	
		IEEE802. 3u (100BASE-TX)	
		IEEE802. 3ab (1000BASE-T)	
		IEEE802.3af (Power over Ethernet)	
	インターフェース	RJ-45 ポート × 5	
	伝送速度	10/100/1000Mbps(オートネゴシエーション、 オート MDI/MDI-X)	
無線 LAN 仕様	対応規格	IEEE802.11 b/g/n/a/ac	
	対応チャンネル	2. 4GHz : 1~13ch	
		5GHz : 36、40、44、48、52、56、60、 64、100、104、108、112、116、 120、124、128、122、126、140~b	
		2 4GHz 5GHz (W52/W53/W56)	
有線 LAN 仕様 無線 LAN 仕様	バロマネック 対応規格 インターフェース 伝送速度 対応規格 対応チャンネル 対応周波数	IEEE802. 3i (10BASE-T) IEEE802. 3u (100BASE-TX) IEEE802. 3ab (1000BASE-T) IEEE802. 3af (Power over Ethernet) RJ-45 ポート × 5 10/100/1000Mbps (オートネゴシエーション、 オート MDI/MDI-X) IEEE802. 11 b/g/n/a/ac 2. 4GHz : 1~13ch 5GHz : 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch 2. 4GHz, 5GHz (W52/W53/W56)	

カテゴリ	項目	概要	備考
無線 LAN 仕様	伝送速度	IEEE802.11b:最大 11Mbps	
		IEEE802.11g:最大 54Mbps	
		IEEE802.11n:最大 300Mbps	
		IEEE802.11ac:最大 867Mbps	
	伝送方式	DSSS 方式(直接拡散型スペクトラム拡散)	
		0FDM 方式(直交周波数分割多重変調)	
	アンテナ	2.4GHz/5GHz 内蔵アンテナ×2	※ 1
	SSID	最大 10 個	
	動作モード	インフラストラクチャモード	
	セキュリティ	WEP(キー長:64bit/128bit)	
		WPA/WPA2-PSK (暗号化:TKIP/AES)	
		MAC アドレスフィルタリング	
		無線 LAN クライアント間通信遮断	
ソフトウェア	動作モード切替	ルーター、アクセスポイントモード 切替	
仕様	WAN 回線	Pv4 P アドレス固定(手動設定)	
		IPv4 DHCP クライアント	
		IPv4 PPPoE クライアント	
		v6 コネクト(IPv4 over IPv6 接続)	※ 2
	アドレス変換	NAPT(IP マスカレード)	
	IPv4 ファイアウォール	MAC フィルタリング、 URL フィルタリング、 各種パケットフィルタリング、ポートマッピング	% 3
	IPv6 ファイアウォール	IPv6 SPI (Stateful Packet Inspection)	※ 4
	LAN 基本機能	DHCP サーバー(有効/無効)	
		IP アドレス固定付与設定	
	VLAN 機能	ポートベース VLAN、マルチプル VLAN、タグ VLAN (IEEE802. 1Q)	※ 5
	無線 LAN スケジュール機能	無線 LAN 動作に関するスケジュール設定	
	VPN 対応	IPsec/L2TP/PPTP パススルー	
	ログ機能	システムログ	
	コンフィグ管理	保存/リストア	

カテゴリ	項目	概要	備考
ソフトウェ	リダイレクト機能	指定 Web サイトへのリダイレクト	
ア仕様		弊社プラットフォームを活用した Web サ イトへのリダイレクト	
	ファームウェアバージョンアップ機能	ネットワーク経由での自動バージョンア ップ設定	
	スケジュール再起動機能	ネットワーク経由での定期再起動設定	
	WebUI 機能	設定UI	
ラベル	底面パネル	型番、販売元、認証ロゴ (JATE、VCCI class-A) シリアル番号、LAN MAC アドレス (各バーコード)	

※1. アンテナ利得

• 2.4GHz : 3.09dBi • 5GHz : 3.98dBi

※2. 以下の IPv6 通信を利用したサービスについては動作保証しておりません。
 · IPv6 マルチキャスト通信を利用した通信サービス
 · 本機の上位側からの IPv6 アドレスの払い出しが DHCPv6-PD を利用した通信サービス

※3. AP モード選択時は、本機宛パケットフィルタリングのみ利用できます。

※4. IPv6 SPI 機能は固定設定です。

※5. VLAN 設定時の UP リンクポートは、WAN ポートのみで固定設定です。 タグ VLAN は、1 つのポートのみ Trunk ポートとして設定することができます。 Trunk ポートを通過するパケットは全てタグ付けされて処理されます。 無線 LAN インタフェースはタグが使用できません。

9.6 筐体寸法



9.7 トラブルシューティング/Q&A 集

Q. 電源が入らない。(本機の電源スイッチを ON にしても電源 LED が点灯しない)

- 1. 電源アダプタと電源コードが正しく接続されているか確認してください。
- 2. 本機と電源プラグが正しく接続されているか確認してください。
- 3. PoE 給電を行っている場合、WAN ポートにLAN ケーブル(RJ45)が正しく接続されているか確認してください。

Q. 本機の WebGUI にアクセスできない。

- 1. 接続端末(PC 等)と本機の LAN ポートが、LAN ケーブル(RJ45)で正しく接続されているか確認してください。
- 2. 接続端末(PC 等)が接続する本機の LAN の LED が点灯しているか確認してください。
- 3. 接続端末(PC 等)の IP アドレスを固定設定にしている場合、ルーターの IP アドレスと重複していないか確認して ください。

Q. 本機を介して、インターネットへ接続できない。

- 1. WANのIP アドレスが正しく取得されているか確認してください。
- 2. 接続端末(PC 等)の LAN の IP アドレスが自動取得になっているか確認してください。
- 3. 接続端末(PC 等)がルーターから配布される IP アドレスを正しく取得しているか確認してください。
- 4. 接続端末(PC 等)のデフォルトゲートウェイ、DNS が正しく取得、設定されているか確認してください。
- 5. 接続端末(PC 等)の IP アドレスを固定設定にしている場合、ルーターのネットワーク帯と同じ値になっているか 確認してください。

本書の内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

株式会社ファイバーゲート

[URL] https://www.fibergate.co.jp/